

和歌山県立文書館 年報・研究報告

第3号

I 令和7年度年報

II 研究報告

収蔵史料目録『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）

令和7年度の民間所在資料保存状況調査について—紀美野町—

..... 西山 史朗

目 次

I 令和7年度年報

1 館の概要

(1) 設置目的	2
(2) 組織図	2
(3) 職員構成	2
(4) 職員名簿	3
(5) 予算・決算	3
(6) 施設・設備	3
(7) 平面図	4
(8) 沿革	5

2 令和7年度業務報告

(1) 古文書の収集・保存・整理・利用	6
(2) 公文書の収集・保存・整理・利用	11
(3) 行政刊行物等の収集・保存・整理・利用	13
(4) 文書等の保存対策	13
(5) 和歌山県歴史資料アーカイブ	14
(6) 教育に関連する取組	16
(7) 民間所在資料保存状況調査	17
(8) その他調査等	18
(9) 普及啓発・利用促進	19
(10) その他の業務	22
(11) 文書館の利用状況	24

3 関係例規

(1) 和歌山県立文書館設置及び管理条例	26
(2) 和歌山県立文書館管理規則	26
(3) 和歌山県立文書館管理要綱	29
(4) 和歌山県立文書館文書等取扱基本要領	34
(5) 和歌山県行政刊行物等の収集に関する訓令	36

II 研究報告

収蔵史料目録『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）	39
----------------------------------	----

令和7年度の民間所在資料保存状況調査について—紀美野町—

西山 史朗	52
-------------	----

I 令和 7 年度年報

1 館の概要

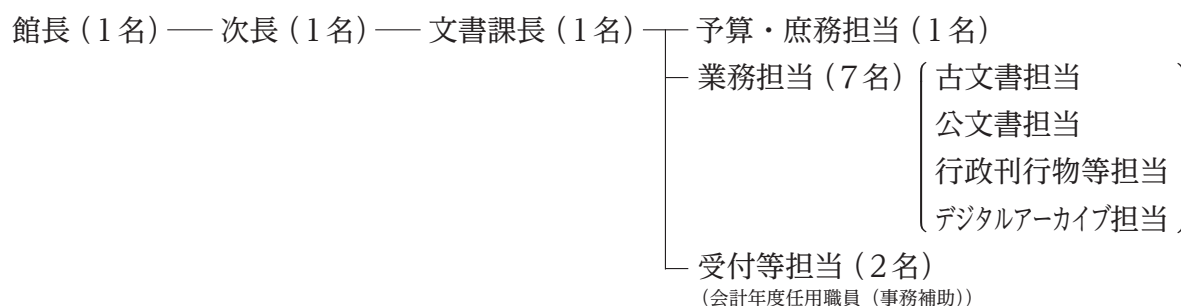
(1) 設置目的

和歌山県立文書館（以下「当館」という。）は、県や県内各地域の歴史資料として重要な文書その他の資料（以下「文書等」という。）を収集・保存・整理して未来に伝えるとともに、これらを一般の利用に供することで、県民の学術及び文化の発展に寄与する施設として、平成5年（1993）7月31日に開館した。

当館の業務は、和歌山県立文書館設置及び管理条例第3条に、文書等の収集及び保存、文書等の利用、文書等の調査研究、資料集等の編さん及び刊行、文書等についての知識の普及啓発、文書館の設置の目的を達成するために必要な業務と定められており、これに基づき各種業務を行っている。

(2) 組織図

当館の所管課は、和歌山県企画部企画政策局文化学術課で、組織図は以下のとおりである。



(3) 職員構成

区分		館長	次長	課長	主査	副主査	主事	会計年度任用職員	計
職員数		1	1	1	3	4	1	2	13
内 訳	一般職員 （事務職）	1			2		1		4
	文書専門員 （技術職）			1※	1※	1			3
	教育委員会からの 出向職員		1			1			2
	再任用職員					2			2
	会計年度任用職員 （事務補助職員）							2	2

※は国立公文書館認証アーキビスト

(4) 職員名簿

職 名	氏 名	主な担当業務
館長	田尻 雅也	館務統括
次長	龍野 直樹	業務総合調整
文書課長	藤 隆宏	文書課の総括、公文書
主査	坂口 敦子	公文書
主査	坂口 真美	予算・決算、庶務
主査	砂川 佳子	デジタルアーカイブ、古文書
副主査	寺前 駿	行政刊行物等、教育連携
副主査	西山 史朗	古文書
副主査	原 博信	公文書
副主査	駒野 裕佳	公文書
主事	太田裕美子	公文書
会計年度任用職員	牛尾 真弓	閲覧提供業務補助、文書整理業務補助
会計年度任用職員	中口 初美	閲覧提供業務補助、文書整理業務補助

(5) 予算・決算

過去5年間の文書館管理運営事業の予算額及び決算額は次のとおりである。

なお、建物及び施設の維持管理は、和歌山県立図書館が担当している。

(単位：千円)

内訳 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	22,548	22,461	11,219	5,926	6,733
決算	20,951	19,266	6,283	5,791	6,570
うち委託料全体	3,975	3,775	3,874	3,801	3,121
くん蒸	594	429	429	462	—
文書修復処理	—	961	881	—	—
マイクロ撮影	2,800	1,769	2,123	2,837	2,433
デジタル撮影	581	616	441	502	—
ホームページ リニューアル	—	—	—	—	688

(6) 施設・設備

当館は、文化複合施設「きのくに志学館」内に和歌山県立図書館・文化情報センターと併設されている。

所在地 〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階（きのくに志学館全体）

敷地面積 10,002.56㎡（きのくに志学館全体）

建築面積 5,528.04㎡（きのくに志学館全体）

延床面積

部 門		延床面積
文 書 館	閲覧室	141.05㎡
	特別閲覧室	29.63㎡
	収蔵庫 1	418.50㎡
	収蔵庫 2	411.37㎡
	整理室	235.49㎡
	事務室	78.17㎡
	撮影室等	63.88㎡
文書館合計		1,378.09㎡
県立図書館との共用部分		3,673.22㎡
きのくに志学館全体		12,361.66㎡

書架延長

収蔵庫 1 7,176m

収蔵庫 2 1,562m

主な設備

自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、ハロゲン化物消火設備、消火栓設備、排煙設備、エレベーター（乗用 1 基、人荷用 2 基）

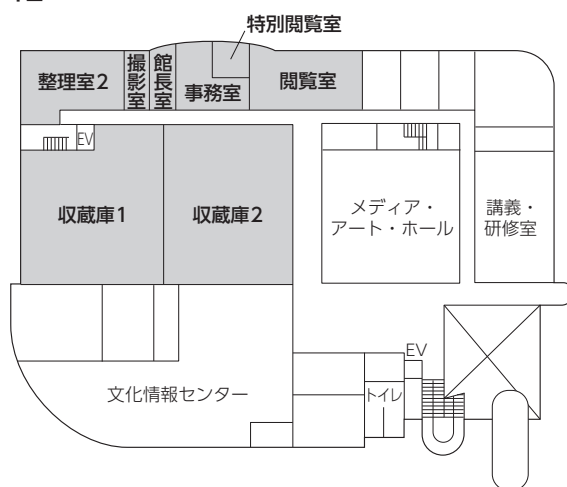
駐 車 場

77台駐車可能（うち 3 台 身体障害者用）

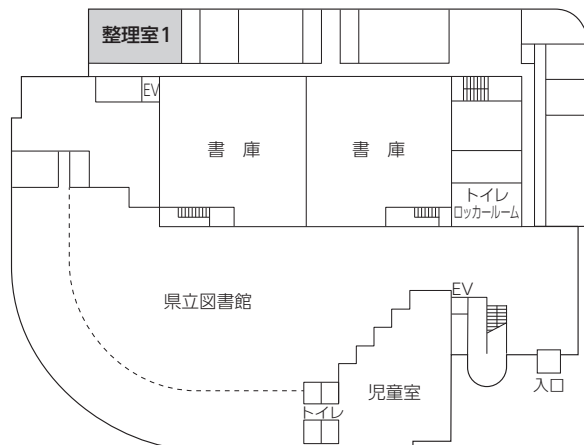
（ 7 ） 平面図

2階

*色塗り部分が文書館



1階



(8) 沿革

年月		県及び当館の動向
昭和46年（1971）	6月	開県100年記念事業として県史編さんを決定
昭和61年（1986）	12月	第4次和歌山県長期総合計画「新世紀の国21」策定、文書館建設を盛り込む
昭和63年（1988）	2月	政策調整会議で和歌山大学経済学部跡地に新図書館・視聴覚センター・文書館の設置を決定
	9月	新図書館等に公文書館を加えた施設建設のため「図書館等建設基本構想検討委員会」を設置
平成元年（1989）	4月	図書館等建設基本構想検討委員会が新図書館・文化情報センター（視聴覚センターを改称）・文書館・公文書館を併設する基本構想を教育長に答申
平成2年（1990）	3月	和歌山大学経済学部跡地10,000㎡が確保され、基本設計に着手
	10月	文書館と公文書館を一本化した施設建設とする
平成3年（1991）	7月	着工
平成5年（1993）	2月	「和歌山県立 ^{もんじょかん} 文書館」を正式名称とする
	3月	竣工
	3月	「和歌山県立文書館設置及び管理条例」公布
	4月	和歌山県立文書館設置（以後、県史編さん事業を引き継ぐ）
	7月	開館
平成6年（1994）	3月	『和歌山県史』全24巻完結
平成7年（1995）	3月	『和歌山県立文書館紀要』創刊号刊行
平成8年（1996）	3月	『収蔵史料目録1』刊行
平成9年（1997）	4月	地域史料保存調査（のち「民間所在資料保存状況調査」に改称）着手
平成13年（2001）	3月	「和歌山県情報公開条例」公布
	3月	「和歌山県公文書管理規程」制定
	9月	「和歌山県議会公文書管理規程」制定
平成14年（2002）	3月	『和歌山県政史』第五巻刊行
平成15年（2003）	3月	開館10周年記念誌『時空の旅 ふるさとを訪ねて』刊行
平成20年（2008）	12月	開館15周年記念誌『紀の国へのいざない』刊行
平成26年（2014）	3月	開館20周年記念誌『古文書徹底解釈 紀州の歴史』刊行
平成30年（2018）	12月	デジタルアーカイブ「和歌山県歴史資料アーカイブ」開設
令和5年（2023）	12月	開館30周年を機に『古文書・公文書等の収集・保存・整理・活用－和歌山県立文書館の業務－』刊行

2 令和7年度業務報告

(1) 古文書の収集・保存・整理・利用

当館が所蔵する古文書は、和歌山県及び県内各地域の歴史を将来に伝えるために重要と認められる書状、記録等を、作成年代にとらわれずに収集したものである。現在、複製資料を含め約10万点を所蔵している。

古文書は、原本保護のため複製物を作成し、複製物を閲覧に供することを原則としている。また、デジタルアーカイブ「和歌山県歴史資料アーカイブ」での画像公開を進めている。未撮影又は未整理の古文書については、事前の申請に対して、可能な限り原本の特別閲覧に供する。

ア 古文書の収集

文書群名	区分	点数	概要
八塚良三写真資料	寄贈	約100点	紀の川市粉河の旧家八塚家のうち粉河酢製造で著名な室屋九左衛門の子孫で神職をつとめた八塚良三の昭和前・中期の写真資料。粉河祭や神社のようすを写したものや、肖像・集合の写真がある。
鈴木家文書	寄贈	1,224点	江戸期には塩津浦網仲間衆として活動し、近代以降は丸田村（現海南市下津町丸田）村長等を務めた鈴木家に伝わった文書。魚網製造、漁業や村の運営に関する資料が中心。
山田常吉家写真	寄贈	約100点	明治期に紀三井寺村（現和歌山市紀三井寺）から移民としてアメリカに渡った山田常吉家の資料。アメリカや和歌山で撮影された写真がある。
御先備御人数控	寄贈	1点	那賀郡岩出組の在鳥見助役を務めた西岡文四郎が作成した第二次長州征討に関する資料。紀州藩先鋒を担った安藤直裕の軍勢について記載。

イ 古文書の整理

文書群名	作業内容
岩崎家文書	目録作成及び195点のマイクロフィルム撮影。
園部家文書	目録作成及び33点のマイクロフィルム撮影。

ウ 古文書のマイクロフィルム撮影等（専門業者への業務委託）

対象資料	撮影点数	画像数	作業内容
岩崎家文書	195	1,800	撮影・紙焼き作成
紀州家中系譜並に親類書書上げ*	664	7,329	撮影・紙焼き作成
園部家文書	33	4,363	撮影・紙焼き作成

*「紀州家中系譜並に親類書書上げ」は、修復したことにより開披可能となった資料を撮影したものである。（詳細は本誌Ⅱ研究報告「収蔵史料目録『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）」参照）。

当館所蔵の古文書群

(令和8年3月31日現在)

	文書群名	出所地名等	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
1	紀州家中系譜並に親類書書上げ		移管	平成5年度	15,759	10・11
2	中尾家文書	海南市下津町梅田	移管	平成5年度	638	1
3	岡家文書Ⅰ・Ⅱ	日高川町中津川	移管	平成5年度	1,907	2
4	山裾織布場文書	和歌山市坂田	移管	平成5年度	348	1
5	蜜柑方元締文書	有田市港町	移管	平成5年度	447	1
6	県立図書館移管資料		移管	平成5年度	1,860	4
7	県史編さん班移管資料		移管	平成5年度	193	4
8	軍学者宇佐美定祐文書(宇佐美家文書)	紀州藩士	寄託	平成5年度	152	7
9	高橋家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成5年度	4,327	3
10	和歌山縣史七巻	和歌山市	寄贈	平成5年度	1	4
11	平松家文書Ⅰ・Ⅱ	和歌山市	寄託	平成5年度	35	12
12	丹生家文書	かつらぎ町天野	寄託	平成5年度	655	5
13	岩崎家文書	和歌山市紀三井寺	寄託	平成5年度	約8,200	
14	守先文庫	有田川町庄	寄贈	平成5年度	220	
15	長保寺文書	海南市下津町上	寄託	平成5年度	約14,000	
16	福重氏所蔵金檀家文書	かつらぎ町東谷	寄託	平成5年度	6	1
17	堀家文書	紀の川市名手市場	寄託	平成5年度	3,881	9
18	大川浦文書Ⅰ・Ⅱ	和歌山市大川	購入	平成5年度	71	1
19	安楽川村文書Ⅰ	紀の川市桃山町元	購入	平成5年度	193	1
20	堀内家文書	紀州藩士	寄託→寄贈	平成6年度	23	1
21	山崎家文書	和歌山市大垣内	寄託	平成6年度	104	1
22	北一夫氏旧蔵北家文書	紀の川市荒見	寄贈	平成6年度	4,750	6
23	谷口家文書	和歌山市冬野	寄託	平成6年度	55	1
24	垣内家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成6年度	約150	12(一部)
25	貞木家文書	和歌山市木ノ本	寄託→寄贈	平成6年度	68	12
26	高橋哲郎家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成6年度	24	12
27	園部家文書	和歌山市園部	寄託→寄贈	平成6年度	約1,300	
28	有田郡久野原村文書(二沢家文書)	有田川町久野原	購入	平成6年度	約360	
29	那賀郡各村公証原簿	紀の川市	購入	平成6年度	88	
30	名草郡坂田村文書	和歌山市坂田	購入	平成6年度	19	12
31	那賀郡冷水村文書	海南市ひや水	購入	平成6年度	99	
32	安楽川村文書Ⅱ	紀の川市桃山町元	購入	平成6年度	191	1
33	大須賀家文書	和歌山市北新	寄託	平成7年度	60	12
34	岩橋家文書	海南市黒江	寄託	平成7年度	50	
35	有田郡吉原村文書	有田川町吉原	購入	平成7年度	4	
36	角谷家文書	和歌山市西浜	購入	平成7年度	792	12
37	藤岡家文書	海南市下津町大崎	購入	平成7年度	832	
38	清水町二沢家文書(昭和・満州関係)	有田川町久野原	購入	平成7年度	約50	
39	洪田郵便局文書	かつらぎ町	購入	平成7年度	29	
40	幸前家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成8年度	1	12
41	道本家文書	紀の川市貴志川町丸瀬	寄託	平成8年度	約200	
42	川口家文書	湯浅町湯浅	寄託	平成8年度	約10,000	
43	大畑家文書	紀州藩士	複製	平成8年度	98	7
44	吉備町野田家文書	有田川町	購入	平成8年度	約200	
45	刑法改定布告		購入	平成9年度	1	
46	市町村制理由		購入	平成9年度	1	
47	名手由兵衛家文書	海南市黒江	寄託→寄贈	平成10年度	1,973	
48	岡本家文書	紀美野町福田	寄託	平成10年度	4,410	13
49	早川家文書	紀州藩士	寄託→寄贈	平成10年度	64	7
50	尾崎林太郎家文書	海南市黒江	寄託	平成10年度	726	5

	文書群名	出所地名等	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
51	尾崎重光家文書	海南市黒江	寄託	平成10年度	2	5
52	那賀郡内文書（八塚家文書）	紀の川市粉河	購入	平成10年度	81	
53	和歌山県同和教育研究協議会資料		寄贈	平成11年度	約1,000	
54	南方熊楠記念館所蔵資料マイクロフィルム		寄託	平成11年度	151	
55	田端家文書	美浜町田井	寄託	平成12年度	約400	
56	尾崎彌太郎家文書	海南市黒江	複製	平成12年度	1	5
57	熊野本宮絵図		購入	平成12年度	1	
58	旧和歌山藩奉職者請願書		購入	平成12年度	1	
59	紀三井寺一心万人講名録		購入	平成12年度	1	
60	熊野本宮御鎮座略記		購入	平成12年度	1	
61	熊野新宮御鎮座記		購入	平成12年度	1	
62	天善鉞山文書	有田川町	寄贈	平成13年度	4	
63	大川浦文書Ⅲ	和歌山市大川	寄託	平成13年度	約185	
64	日高郡下志賀村文書	日高町志賀	購入	平成13年度	約20	
65	野長瀬家文書	田辺市中辺路町近露	寄託	平成14年度	426	
66	中筋家文書	和歌山市禰宜	購入	平成14年度	794	12
67	渥美家文書	鈴鹿市（白子領）	寄託	平成15年度	403	
68	興國寺文書	由良町門前	寄託	平成15年度	約2,000	
69	西松江村文書	和歌山市松江	購入	平成15年度	144	12
70	田中家文書	海南市鳥居	寄託	平成16年度	1,693	
71	中尾家文書Ⅱ	海南市下津町梅田	寄託	平成16年度	145	
72	中村家文書	田辺市下川下	寄託	平成16年度	981	
73	瀬戸家文書	御坊市藤田町藤井	寄託	平成16年度	3,300	8
74	萱野家文書	橋本市清水	寄託	平成16年度	約2,000	
75	西山家文書	紀州藩士	購入	平成16年度	1	7
76	明治22年版和歌山県管内市町村改定全図		購入	平成17年度	1	
77	賢堂村文書	橋本市賢堂	購入	平成17年度	90	
78	大藪村御検地帳	かつらぎ町大藪	購入	平成17年度	1	
79	妙寺村文書	かつらぎ町妙寺	購入	平成17年度	84	
80	小川家文書	田辺領家臣	寄贈	平成18年度	336	7
81	橋本家文書Ⅰ	御坊市湯川町	寄託	平成18年度	約2,200	
82	（紀州藩士）岡本家文書	紀州藩士	寄贈	平成18年度	1	7
83	真砂家文書	田辺市中辺路町栗栖川	寄託	平成18年度	約600	
84	和歌山県議会図書室移管資料		移管	平成19年度	135	
85	旧高野口町岡本家文書	橋本市高野口町名古屋	寄贈	平成19年度	約300	
86	栗本源次氏旧蔵文書		寄贈	平成20年度	1	
87	由良町旧蔵文書	由良町	寄贈	平成20年度	約1,000	
88	志賀裕春氏旧蔵文書	和歌山市	寄託	平成20年度	28	
89	内畑弘氏旧蔵資料	和歌山市	寄贈	平成20年度	15	
90	美浜町教育委員会旧蔵資料	美浜町	寄贈	平成20年度	約150	
91	和歌の浦景観保全訴訟関係資料	和歌山市	寄贈	平成20年度	約200	
92	紀伊国海土郡加太浦文書	和歌山市加太	購入	平成20年度	60	12
93	紀州藩江戸屋敷奥向日記（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	1	
94	紀州藩歴代藩主叙任口宣案・宣旨・位記（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	128	
95	岡見家文書（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	17	
96	紀州徳川家系譜（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	1	
97	芦川家文書（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	53	
98	紀州中屋文書（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	84	
99	牧笛類草（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	8	
100	天明五年道中記（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	1	
101	道中日記（県立博物館所蔵）		複製	平成20年度	1	

	文書群名	出所地名等	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
102	古田家文書	御坊市湯川町富安	寄贈	平成21年度	約750	
103	永栄家文書	紀の川市西大井	寄贈	平成21年度	約50	
104	県立図書館所蔵資料		複製	平成20・21年度	187	
105	野上軽便鉄道資料	海南市	寄贈	平成22年度	3	
106	岩崎文彦氏旧蔵資料	広川町広	寄贈	平成22年度	約500	
107	垂井家文書	和歌山市	寄贈	平成22年度	約60	
108	武内家所蔵文書	和歌山市小豆島	寄託	平成22年度	155	
109	紀州東照宮近代文書	和歌山市和歌浦西	複製	平成21・22年度	205	
110	鍵村商店資料	海南市日方	寄贈	平成23年度	335	
111	那賀郡・海部郡・名草郡内資料その他		寄贈	平成23年度	30	
112	紀州東照宮所蔵南紀徳川史	和歌山市和歌浦西	複製	平成22・23年度	147	
113	海南市大野中春日神社文書	海南市大野中	複製	平成23年度	2,095	
114	紀州東照宮文書	和歌山市和歌浦西	寄託	平成24年度	約300	
115	林繁昭氏旧蔵資料（南陽馬車鉄道関係文書）		寄贈	平成24年度	15	
116	林繁昭氏旧蔵資料（和歌山県教育会満鮮支視察旅行報告関連資料）		寄贈	平成24年度	2	
117	林繁昭氏旧蔵資料（田嶋漆店関係文書）	海南市	寄贈	平成24年度	28	
118	和歌山市本脇中村家文書	和歌山市本脇	寄贈	平成24年度	約600	
119	父川家文書	橋本市東家	寄贈	平成24年度	約85	
120	榎家文書	海南市孟子	寄贈	平成24年度	約420	
121	谷井家文書	和歌山市関戸	寄贈	平成24年度	約1,500	
122	孟子区有文書	海南市孟子	寄託	平成25年度	約300	
123	遊佐家文書	紀州藩士	寄託	平成25年度	約150	
124	川端章子氏寄贈文書	和歌山市元寺町	寄贈	平成25年度	約20	
125	塩崎家文書	日高町津久野	寄託→寄贈	平成25年度	約700	
126	海部郡和歌村役場「蠣海苔及漁業其他必用書類留」	和歌山市和歌浦東	寄託→寄贈	平成25年度	1	
127	瀧井家文書	橋本市清水	寄贈	平成25年度	約630	
128	第3次小野田少尉救出活動参加報告書等	海南市役所	寄贈	平成26年度	7	
129	山本家文書	かつらぎ町高田	寄託→寄贈	平成26年度	約150	
130	山本吉左衛門家知行目録	紀州藩士	寄託	平成26年度	3	
131	孟子村庄屋榎家文書	海南市孟子	寄託	平成26年度	115	
132	瑞祥庵文書	那智勝浦町南平野	寄贈	平成26年度	約100	
133	正法寺文書	那智勝浦町坂足	寄贈	平成26年度	約50	
134	初湯川村文書	日高川町初湯川	購入	平成26年度	約50	
135	紀の路御遊覧日記	貝塚御坊	購入	平成26年度	1	
136	紀州和歌浦加吉船難船浦手形	和歌山市	購入	平成26年度	1	
137	宇佐美系譜	紀州藩士	寄贈	平成27年度	2	
138	ロバート・テキスター関係資料		寄贈	平成27年度	49	
139	中松家文書	田辺領家臣	寄託	平成27年度	約15	
140	小阪区文書	那智勝浦町小阪	寄託	平成27年度	約430	
141	帯庄酒造・森田家文書	かつらぎ町丁ノ町	寄託	平成27年度	約1,000	
142	紀州牟婁郡新宮領里数在郷神社仏閣旧跡記		購入	平成27年度	1	
143	紀州藩士藺田家文書	紀州藩士	購入	平成27年度	約20	
144	平野氏三船明神御遷宮私記	紀の川市桃山町元	購入	平成27年度	4	
145	那賀銀行・那賀製紙工場設計図	紀の川市名手市場	購入	平成27年度	33	
146	亭原家文書	日高川町松瀬	寄託	平成28年度	約100	
147	北大井村御検地帳及び北大井村字限図	紀の川市北大井	寄託	平成28年度	2	
148	坂口俊夫家文書	由良町網代	寄贈	平成28年度	1	
149	和歌山県営繕技師増田八郎資料		寄贈	平成28年度	約65	
150	堀田家文書	湯浅町湯浅	寄贈	平成28年度	約1,000	
151	紀州藩士間宮家文書	紀州藩士	購入	平成28年度	17	
152	山口御殿番井関喜太夫勤覚	紀州藩士	購入	平成28年度	1	

	文書群名	出所地名等	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
153	御帰国御道中人馬賃銭持出し等払帳	紀州藩士	購入	平成28年度	1	
154	有田郡山保田組寺原村諸願留帳	有田川町寺原	購入	平成28年度	1	
155	海士郡吉原組大庄屋文書	和歌山市吉原	購入	平成28年度	1	
156	日高郡藺荘浜瀬村図	美浜町浜ノ瀬	購入	平成28年度	1	
157	宝暦十三年和歌山城下屋鋪絵図帳		購入	平成28年度	1	
158	新宮領巡見使案内懐中覚		購入	平成28年度	1	
159	名草郡宮組坂田村文化九年御用向留帳	和歌山市坂田	購入	平成28年度	1	
160	福町伍組触留	和歌山市福町	購入	平成28年度	1	
161	紀州藩士姓名帳		購入	平成28年度	4	
162	龍門尋常小学校・川原村高等尋常小学校増築工事設計書	紀の川市	購入	平成28年度	3	
163	日高郡塩屋村役場文書	御坊市塩屋町北塩屋	購入	平成28年度	2	
164	蜜柑方書付		購入	平成28年度	1	
165	小山家文書（旧龍王神社文書）	美浜町三尾	寄託	平成29年度	227	4
166	宮本守中・道夫関係資料	新宮市・古座川町	寄贈	平成29年度	約190	
167	橋本家文書Ⅱ	御坊市湯川町	購入	平成29年度	30	
168	粉河町天南白水座劇場建築工事図面綴	紀の川市粉河	購入	平成29年度	11	
169	八塚家御通し之写	紀の川市粉河	購入	平成29年度	1	
170	宮内省梨本宮附別当三雲敬一郎家文書		購入	平成29年度	約200	
171	三浦家家臣宮本家文書	三浦家家臣	寄贈	平成30年度	約100	
172	塩冶家文書	紀州藩士	寄託	平成30年度	約400	
173	中田区文書	紀美野町中田	寄託	平成30年度	約200	
174	谷井家文書Ⅱ	和歌山市関戸	寄贈	平成30年度	約350	
175	牧スナ旧蔵岡崎邦輔資料		寄贈	平成30年度	約80	
176	栖原角兵衛文書		寄贈	平成30年度	101	
177	巽三郎旧蔵文書		寄贈	令和元年度	約270	
178	中川皎資料	有田川町（旧清水町）	寄贈	令和元年度	32	
179	有田川水害古地図（花園村災害調査図）	かつらぎ町（旧花園村）	寄贈	令和元年度	2	
180	紀州口六郡大庄屋杖突帳書姓名付		購入	令和元年度	1	
181	紀州藩士古屋家文書	紀州藩士	購入	令和元年度	約40	
182	稲むらの火の館所蔵渋谷家文書	広川町広	複製	令和元年度	23	
183	耐久高校所蔵資料		複製	令和元年度	29	
184	紀州藩在府御供勤方諸定書		購入	令和2年度	1	
185	有田郡山保田組大庄屋堀江家文書	有田川町清水	購入	令和2年度	約100	
186	二沢家文書	有田川町久野原	購入	令和2年度	7	
187	紀州徳川家回向勤覚		購入	令和2年度	1	
188	申本古座高校所蔵中根文庫		複製	令和元・2年度	199	
189	宮井家文書	印南町島田	寄贈	令和3年度	13	
190	和歌山高等女学校教諭竹之内喜八郎資料		寄贈	令和4年度	約140	
191	竹中順吉関係資料		寄贈	令和4年度	約40	
192	旧花園村新子小字金剛寺文書	かつらぎ町花園新子	寄贈	令和4年度	約250	
193	郡居雑記		寄贈	令和4年度	1	
194	小山豊旧蔵資料（御坊市教育委員会所蔵）		複製	令和3・4年度	50	
195	和田康之鉄道写真資料	和歌山市	寄贈	令和6年度	50	
196	小出家文書	田辺領家臣	寄贈	令和6年度	42	
197	八塚良三写真資料	紀の川市粉河	寄贈	令和7年度	約100	
198	鈴木家文書	海南市下津町丸田	寄贈	令和7年度	1,224	
199	山田常吉家写真	和歌山市紀三井寺	寄贈	令和7年度	約100	
200	御先備御人数控	岩出市岡田	寄贈	令和7年度	1	

(2) 公文書の収集・保存・整理・利用

当館が取り扱う公文書は、以下のとおりである。

種別	引継ぎ・収集・受入対象
引継文書	知事部局本庁で作成された永久保存文書のうち、完結後20年を経過したもの
収集文書	保存期間を経過し、廃棄の決定を受けた知事部局の公文書のうち、文書館長が歴史的価値があると認めるもの
受入文書	議会、監査委員、各種行政委員会、県出資法人等が廃棄した公文書等のうち、文書館長が歴史的価値があると認めるもの

ア 公文書の冊数

令和7年度末現在、当館で管理している公文書の冊数は、下記のとおりである。

冊数 \ 種別	引継文書	収集文書	受入文書	計
H5～R6	22,959	14,161	855	37,975
収集	184	1,188	5	1,377
廃棄	-920	0	0	-920
返還	0	0	0	0
計	22,223	15,349	860	38,432

* 主務課による見直しにより廃棄となった引継文書が920冊あった。このうち、当館で歴史的価値があると認めた文書23冊を収集文書として引き継いだ。

イ 引継文書の収集・保存

冊数 \ 部局	知事直轄	総務部	危機管理部	企画部	地域振興部	環境生活部
H5～R6	61	3,927	45	202	75	697
収集	0	0	0	0	0	0
廃棄	0	-2	0	0	0	-3
返還	0	0	0	0	0	0
計	61	3,925	45	202	75	694

冊数 \ 部局	共生社会推進部	福祉保健部	商工労働部	農林水産部	県土整備部	会計局	計
H5～R6	73	4,902	121	3,952	8,904	0	22,959
収集	0	38	0	29	117	0	184
廃棄	0	-23	0	-4	-888	0	-920
返還	0	0	0	0	0	0	0
計	73	4,917	121	3,977	8,133	0	22,223

ウ 収集文書の収集・保存

冊数	部局	知事直轄	総務部	危機 管理部	企画部	地域 振興部	環境 生活部
H 5 ～ R 6		581	1,868	240	742	959	725
収集		18	73	16	353	30	15
計		599	1,941	256	1,095	989	740

冊数	部局	共生社会 推進部	福祉 保健部	商工 労働部	農林 水産部	県土 整備部	会計局
H 5 ～ R 6		562	866	694	2,239	1,782	69
収集		35	26	34	152	75	3
計		597	892	728	2,391	1,857	72

冊数	部局	海草 振興局	那賀 振興局	伊都 振興局	有田 振興局	日高 振興局	西牟婁 振興局	東牟婁 振興局	地方 機関	計
H 5 ～ R 6		240	193	121	374	296	277	122	1,211	14,161
収集		21	4	7	6	50	94	21	155	1,188
計		261	197	128	380	346	371	143	1,366	15,349

エ 受入文書の収集・保存

令和 7 年度は、県議会事務局から 5 冊の文書を受け入れた。

冊数	種別	計
H 5 ～ R 6		855
収集		5
計		860

オ 公文書の整理

引き継がれた公文書については、順次件名目次の作成をしている。これまでに作成済みの冊数は、以下のとおりである。

冊数	種別	引継文書	収集文書	受入文書	計
H 5 ～ R 6		22,959	14,161	855	37,975
件名目次 作成済		13,200	9,032	16	22,248
		57.5%	63.8%	1.9%	58.6%

カ 公文書の利用

事案完結から30年が経過した公文書については、文書台帳を公開している。これら公文書のうち利用制限のないものを利用に供している。ただし、引継文書の場合、主務課長により「利用不可」とされたものについては、主務課での公文書開示対応となる。

また、収集文書及び受入文書で主務課から「利用不可」とされたもの及び当館で「利用不可」と判断したものは利用に供していない。

冊数	種別	引継文書	収集文書	受入文書	計
H 5 ～ R 6		22,959	14,161	855	37,975
文書台帳 公開		19,946	177	381	20,504
		86.9%	1.2%	44.6%	54.0%

(3) 行政刊行物等の収集・保存・整理・利用

当館が収集対象としている行政刊行物等は、以下のとおりである。

- ①平成12年和歌山県訓令第23号に基づき当館への送付が義務付けられている県の知事部局発行の行政刊行物等
- ②県議会、県の各種行政委員会、県警察本部、県出資法人、県内市町村等の刊行物等
- ③国の各機関、県外の地方公共団体等の刊行物等のうち和歌山県に関係するもの

ア 行政刊行物等の年度別受入冊数

年度	和歌山県の刊行物等			その他の刊行物等				計
	寄贈・訓令 ^{*1}	整理 ^{*2}	計	寄贈	購入	整理 ^{*2}	計	
H5～R2	11,577	241	11,818	34,351	1,412	1,008	36,771	48,589
令和3	230	122	352	479	32	52	563	915
令和4	303	116	419	489	18	87	594	1,013
令和5	233	128	361	395	18	66	479	840
令和6	131	34	165	364	17	65	446	611
令和7	159	205	364	291	18	324	633	997
受入計	12,633	846	13,479	36,369	1,515	1,602	39,486	52,965

*1 訓令…平成12年和歌山県訓令第23号に基づき収集する県の知事部局が作成する行政刊行物等

*2 整理…インターネット上で公開された和歌山県の行政情報等を印字したもの及び公文書等を整理して行政刊行物として受け入れたもの

イ 行政刊行物等の所蔵冊数

収蔵庫の狭隘化対策として、和歌山県立文書館文書等取扱基本要領に則り、文書館が取り扱う文書等の対象外の冊子等を令和6・7年度に廃棄した。令和8年3月末現在の行政刊行物所蔵冊数は下記のとおりである。

年度	和歌山県の刊行物等			その他の刊行物等				計
	寄贈・訓令	整理	合計	寄贈	購入	整理	合計	
受入計	12,633	846	13,479	36,369	1,515	1,602	39,486	52,965
令和6廃棄	0	0	0	-7,450	-24	-659	-8,133	-8,133
令和7廃棄	0	0	0	-551	-26	-34	-611	-611
所蔵計	12,633	846	13,479	28,368	1,465	909	30,742	44,221

(4) 文書等の保存対策

ア 防虫・防カビ対策

令和6年までは専門業者への業務委託により、殺虫・防虫のためピレスロイド系殺虫剤D-D-Tシフェノトリン（商品名ブンガノン）を噴霧していたが、当該薬剤の生産終了に伴い、令和7年度は噴霧を実施していない。

特別整理期間（令和7年12月2日～12日）中に収蔵庫の清掃を行うとともに、各文書等を目視点検し、新たな虫損、カビの繁殖がないことを確認した。また、古文書保存容器内の一般家庭用ピレスロイド系防虫剤の入れ替えを行った。

菌害対策として、文書等又は施設への殺菌剤投与は行わず、収蔵庫内の相対湿度を60

%未満に維持するよう努めることで、文書等のカビの発生を抑制している。令和7年度、両収蔵庫内は、相対湿度50%～57%、気温16℃～28℃で推移した。

イ 紫外線対策

収蔵庫を含め当館照明はすべてLED化している。

(5) 和歌山県歴史資料アーカイブ

当館では、和歌山県歴史資料アーカイブで公開することを目的として、令和2年度から文書等のデジタル撮影を業務委託により実施している。

令和7年度は、マイクロフィルム撮影を優先したため、デジタル撮影を行わなかった。

当館で所蔵する「県立図書館移管資料」のなかから「坂本屋喜一郎家文書」について、マイクロフィルム撮影による複製物を電子化(PDFへ変換)し、公開した。また、日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」の構成要素である「観海閣」の復元的完成を記念して、明治時代に観海閣を修繕した記録がある「蟬海苔及漁業其他必要書類留」を公開した。

なお、和歌山県歴史資料アーカイブは、国立国会図書館が運営するジャパンサーチに参加し、資料画像の利用条件を原則当館所蔵であることを明記すること(著作物についてはCC-BY)として一般の利用を認めている。また、当館で所蔵する資料の一部について、「古文書資料群データベース」、「古文書データベース」、「公文書データベース」及び「行政刊行物等データベース」と新たに連携した。

ア デジタル化点数

種別	デジタル撮影				マイクロフィルムの電子化	
所蔵別	館蔵		他機関		館蔵	
年度	点数	画像数	点数	画像数	点数	画像数
H30～R2	0	0	18	1,836	796	6,993
令和3	0	0	26	2,918	58	2,650
令和4	114	1,994	6	710	5	263
令和5	22	2,204	0	0	0	0
R5文化庁事業	239	2,500	0	0	—	—
令和6	28	2,588	0	0	89	1,073
令和7	0	0	0	0	33	53
計	403	9,286	50	5,464	981	11,032

イ 公開資料

公開日	文書群(資料)名	区分	内容	点数	画像数
6月4日	「唐の繁栄—耐久高校に伝わる『貞観政要』—」ほか全4点、ワークシート4点	授業で使える和歌山の資料	当館所蔵資料のうち、学校の授業の教材として活用可能な和歌山に関する地域資料の解説及び学習用ワークシート	4	18
6月20日	県報、県民の友	行政刊行物等	大正5・6年発行の県報、昭和36・37年の県民の友	269	3,577
7月25日	「戦時下の社会—出征を祝う人々—」	授業で使える和歌山の資料	当館所蔵資料から出征に関する資料を用いて作成した資料解説シート	1	3

公開日	文書群（資料）名	区分	内容	点数	画像数
9月12日	「トルコ慰霊祭関係」	公文書	明治23年9月16日に沈没したトルコ軍艦エルトゥール号の遭難後に行われた昭和34～49年にかけての慰霊式典に関する公文書	1	259
9月12日	「エルトゥール号の遭難―悲劇の記憶から友好の象徴へ―」	授業で使える和歌山の資料	公文書「トルコ慰霊祭関係」についての資料解説シート	—	—
12月13日	『坂本屋喜一郎家文書』	古文書	幕末の城下町和歌山で本屋を営んでいた坂本屋喜一郎家の古文書	33	53
12月13日	「江戸時代の出版統制―和歌山の書店坂本屋―」	授業で使える和歌山の資料	古文書『坂本屋喜一郎家文書』をもとに作成した資料解説シート及びワークシート	—	—
3月18日	「明治時代の交通 一手紙でたどる明治時代の移民1―」ほか全4点	授業で使える和歌山の資料	当館所蔵資料のうち、移民関係資料3点ほかをもとに作成した資料解説シート	—	—
3月28日	『蠣海苔及漁業其他必要書類留』	古文書	明治5年(1872)から明治29年(1896)にかけて和歌村役場で作成された元公文書	1	406
計				309	4,316

*「授業で使える和歌山の資料」のうち、他で公開済みの資料については点数・画像数に追加していない。

ウ 公開点数

種別	古文書		公文書		行政刊行物等	
年度	点数	画像数	点数	画像数	点数	画像数
H30～R2	611	17,012	—	—	768	5,977
令和3	58	2,650	—	—	288	2,130
令和4	5	263	—	—	271	3,261
令和5	0	0	—	—	324	4,651
R5文化庁事業 移民資料	239	1,102	—	—	—	—
令和6	89	1,073	2	183	251	3,254
令和7	34	459	1	259	269	3,577
計	1,036	22,559	3	442	2,171	22,850

種別	写真・絵図		授業で使える和歌山の資料		計	
年度	点数	画像数	点数	画像数	点数	画像数
H30～R2	59	539	—	—	1,438	23,528
令和3	0	0	—	—	346	4,780
令和4	0	0	—	—	276	3,524
令和5	50	1,111	7	38	381	5,800
R5文化庁事業 移民資料	—	—	—	—	239	1,102
令和6	0	0	5	9	347	4,519
令和7	0	0	5	21	309	4,316
計	109	1,650	17	68	3,336	47,569

*「授業で使える和歌山の資料」のうち、公開済みの資料については点数・画像数に追加していない。

(6) 教育に関連する取組

ア 授業に関する支援

令和5年度、和歌山県歴史資料アーカイブ内に「授業で使える和歌山の資料」と題したウェブページを開設した。本ページでは、当館の所蔵資料を中心に、学校の授業の教材として活用可能な和歌山に関する地域資料のデジタル画像を公開することで、身近な地域に伝わる歴史資料から、教科書の学習事項の一端を学ぶことができる内容としている。

小学校・中学校における社会科、高等学校における地理歴史科・公民科、総合的な学習（探究）の時間等の授業、ふるさと学習のほか、一般の方の学習用としても幅広く活用が可能である。

具体的には、資料内容の説明、授業での活用のポイント等を示した解説シート及び資料に即した内容のワークシートを作成・公開し、教員等への利用に供している。

解説シート

公開日	タイトル	使用した資料の概要
6月4日	唐の繁栄―耐久高校に伝わる『貞観政要』―	「耐久梧陵文庫」（耐久高校所蔵）に含まれる唐の太宗と重臣の議論を記録した書籍
	将軍継嗣問題―和歌山に伝わる古文書からみる資料の特質―	1858（安政5）年に徳川慶福（のちの家茂）が将軍の跡継ぎに決まったこと、それに伴う一橋派の処分等を知らせる風聞を記した文書
	桜田門外の変―幕末の転換点を紀州に伝える資料―	1860（万延元）年の桜田門外の変を知らせる風聞を記した文書
	明治時代初期の家族のかたち―近代化と向き合う人々―	和歌山市園部に伝わった明治時代初期の離婚に関する文書
7月25日	戦時下の社会―出征を祝う人々―	1937（昭和12）年に始まった日中戦争へと出征する兵士を見送る際に使われた資料
9月12日	エルトゥール号の遭難―悲劇の記憶から友好の象徴へ―	1890（明治23）年、和歌山県檜野埼沖で発生したエルトゥール号の遭難事件の追悼式に関する和歌山県の公文書
12月13日	江戸時代の出版統制―和歌山の書店坂本屋―	1844（天保15）年に和歌山で書店を営む坂本屋喜一郎が町奉行所に提出した出版願の控え
3月18日	明治時代の交通―手紙でたどる明治時代の移民1―	明治時代に紀三井寺村（現和歌山市）からアメリカ合衆国へと移住する岩崎甚四郎が大阪府に提出した海外旅券の申請書類と移動途中の横浜から和歌山に暮らす義兄へと送った手紙
	エンジェル島と移民―手紙でたどる明治時代の移民2―	岩崎甚四郎がサンフランシスコ到着前にエンジェル島に2週間隔離されたことを記した手紙
	日本人移民の労働環境―手紙でたどる明治時代の移民3―	岩崎甚四郎がアメリカでの労働環境等を記し、紀三井寺村に暮らす家族に送った手紙と甚四郎が家族に送金したことを知らせる横浜正金銀行発行の通知書
	戦時下の言論統制―ミッドウェー海戦の結果を隠した新聞―	1942（昭和17）年に起きたミッドウェー海戦について、事実とは異なる戦況を報じる新聞記事

ワークシート

公開日	タイトル	解説シートのタイトル
6月4日	和歌山の視点から「近代化への問い」をつくろう！	「近代化への問い」に関する解説シート
	清代の中国と江戸時代の日本の社会の違いは何だろう？	清の繁栄—『万寿盛典初集』からみる多民族国家の姿—
	時代による人々の高野山に対するとらえ方の違いは何だろう？	高野山と大衆文化 —観光と宗教のはざまでゆれる「聖地」—
	「経済成長」とはどのようにあるべきなのだろう？	和歌山の公害対策—高度経済成長の光と影—
12月13日	なぜ紀州藩や幕府は出版統制をおこなっていたのだろう？	江戸時代の出版統制—和歌山の書店坂本屋—

イ 職場体験学習・インターンシップ等

月 日	対 象	出席者数	概 要
8月27日	大学生	1	施設見学、公文書の収集・保存・整理・活用について説明
10月28～30日	和歌山市立紀伊中学校2年生	3	施設見学、文書館業務説明、資料を用いた講義、ケース展示の作成・展示作業
11月11～14日	県立桐蔭中学校3年生	3	施設見学、文書館業務説明、資料調査及び発表、パネル展示の作成・展示作業

ウ 教職員への研修等

月 日	団体・研修会等の名称	場 所	担当
4月23日	和歌山市中学校社会科教育研究会総会	河北中学校	寺前
5月16日	和歌山県中学校社会科教育研究会理事会・総会	県立博物館	寺前
7月20日	和歌山県中学校社会科教育研究会第10回研究交流会	和歌山大学教育学部附属中学校	寺前
8月7日	中堅教諭等資質向上研修・選択研修	県立図書館	寺前
8月21日	和歌山市中学校社会科教育研究会夏季研修会	当館 講義・研修室	寺前
2月21日	和歌山移民史教育の実践を目指した指導者研修報告会	オンライン	寺前
2月28日	和歌山移民史教育の実践を目指した指導者研修報告会	信愛大学	寺前

(7) 民間所在資料保存状況調査

当館は、令和7年度、紀美野町域を対象として民間所在資料保存状況調査を行った。調査は照会状の送付後、電話又は訪問の方法により確認・調査した（詳細は本誌Ⅱ研究報告「令和7年度の民間所在資料保存状況調査について—紀美野町—」参照）。

調査年月日	訪問調査先	調査年月日	訪問調査先
4月24日	紀美野町役場美里支所	2月14日	紀美野町梅本・松瀬
5月16日	紀美野町長谷	2月25日	紀美野町小西
6月21日	紀美野町滝ノ川	3月10日	紀美野町毛原宮
9月19日	貴志川町長山	3月19日	紀美野町福田

(8) その他調査等

ア 海南市民間所在資料（海南市下津町塩津）

- ・調査日 令和7年5月13日
- ・概要 令和6年度に実施した民間所在資料保存状況調査の未調査分について調査した。

イ 海南市民間所在資料（海南市下津町塩津）

- ・調査日 令和7年5月21日 *13日調査とは別件
- ・概要 令和6年度に実施した民間所在資料保存状況調査の未調査分について調査した。

ウ 海南市鈴木家文書（海南市下津町丸田）

- ・調査日 令和7年5月21日
- ・概要 令和6年度に実施した民間所在資料保存状況調査の対象であった鈴木家文書受入れのための事前調査を行った。

エ 岩出市民間所在資料（岩出市曾屋）

- ・調査日 令和7年5月27日
- ・概要 近年所有者の代替わりがあった古文書を含む文化財について現状を確認し、所有者と岩出市教育委員会、県教育委員会、県立博物館及び当館とで今後の保存・活用について協議した。

オ 榎家文書（海南市孟子）

- ・調査日 令和7年6月18日
- ・概要 平成24・26・28年度に当館へ寄贈された榎家文書に関し、「授業で使える和歌山の資料」解説シート作成及びケース展示のための聞き取り調査を行った。県教育委員会も同行し、建造物の調査を行った。

カ 寒川家資料（田辺市龍神村宮代）

- ・調査日 令和7年7月10日
- ・概要 令和5年度に民間所在資料保存状況調査を行った資料について、田辺市教育委員会への寄贈にあたり、現状確認及び所蔵者と田辺市との協議に立ち会った。

キ 北村家資料（湯浅町湯浅）

- ・調査日 令和7年7月16日
- ・概要 湯浅町、県教育委員会、県立博物館、県立近代美術館及び県立紀伊風土記の丘と協力して土蔵の解体工事前に金山寺味噌製造業者の資料を町有の仮保管場所へ搬出し、概要調査を行った。

ク 山田常吉家文書（和歌山市紀三井寺）

- ・調査日 令和7年8月1日
- ・概要 明治期に移民として渡米した山田常吉家の解体工事に伴う調査を県立近代美術館とともにに行い、写真資料の寄贈を受けた。

ケ 有田市民間所在資料（有田市山田原）

- ・調査日 令和7年12月19日
- ・概要 有田市教育委員会とともに土蔵の解体工事前に調査を実施し、資料の保存について助言した。

コ 海南市民間所在資料（海南市幡川）

- ・調査日 令和8年1月29日

- ・概 要 令和 6 年度に実施した民間所在資料保存状況調査の未調査分について調査した。
- サ 新宮市民間所在資料（新宮市熊野川町上長井）
 - ・調査日 令和 8 年 2 月 9 ～ 10 日
 - ・概 要 和歌山大学紀州経済史文化史研究所とともに、同大学と産学連携プロジェクトを行う企業が旧家から引き継いだ古文書を調査した。
- シ 増田長盛書状（和歌山市西高松）
 - ・調査日 令和 8 年 2 月 23 日
 - ・概 要 和歌山市内の住宅で保管されていた古文書の保存について相談があったことから即日調査して一時預かりしたところ、県立博物館所蔵『金池村田村家文書』と同出所であったため、同館への寄贈を助言した。
- ス 岡本家文書（紀美野町福田）
 - ・調査日 令和 8 年 3 月 19 日
 - ・概 要 当館寄託『岡本家文書』について、書画類等の関連調査を行った。

（ 9 ） 普及啓発・利用促進

ア 歴史講座

当館では、平成 6 年度から県民の郷土の歴史や文化に対する理解と認識を深めることを目的に歴史講座を開催している。

回	日 時	テーマ	講師	参加者
1	11月22日 13：30～15：30	旧武田家家臣小出家の由緒と歴史	西山史朗	32名
2	11月29日 13：30～15：30	幻の「前史」を含む野上鉄道史 —令和 6 年度寄贈古文書から—	藤隆宏	47名

*いずれも会場は、きのくに志学館 2 階講義・研修室

イ 『和歌山県立文書館 年報・研究報告』第 2 号（1,000部）

毎年の業務実績と研究成果を併せて報告することとして、令和 5 年度に創刊したもの。

種別	タイトル	執筆者
年報	令和 6 年度業務報告	—
研究報告	公文書館等が提供する授業用教材の効果的な活用に向けて—「授業で使える和歌山の資料」を中心に—	寺前駿
	令和 6 年度の民間所在資料保存状況調査について—海南市—	藤隆宏
	和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議（和博連）設立後 10 年の歩み	藤隆宏

ウ パネル展示

トルコ軍艦エルトゥール号遭難135周年を迎えることから、当館で所蔵する公文書の展示を行った。第68回展示は、職場体験学習において県立桐蔭中学校生徒が作成したものである。

回	展示期間	テーマ
67	5月9日～11月30日	公文書、歴史資料となる —「和歌山県章募集一件」と「トルコ慰霊祭関係」の紹介—
68	12月13日～5月13日	紀州和歌山の本屋さん！ 坂本屋喜一郎家文書

エ ケース展示

ケース展示で原本の展示を行った。なお、「紀州和歌山の本屋さん！ 坂本屋喜一郎家文書」の展示は、職場体験学習において和歌山市立紀伊中学校生徒が作成したものである。

展示期間	テーマ	展示資料の出典
5月9日～7月24日	公文書、歴史資料となる「和歌山県章募集一件」の紹介	公文書
7月25日～9月10日	授業で使える和歌山の資料戦時下の社会—出征を祝う人々—	榎家文書
9月12日～11月30日	公文書、歴史資料となる「トルコ慰霊祭関係」の紹介	公文書
12月13日～3月11日	紀州和歌山の本屋さん！ 坂本屋喜一郎家文書	県立図書館移管資料
3月13日～5月13日	「昭和100年」連続ケース展示① ロバート・テキスター関係資料	ロバート・テキスター 関係資料

オ 文書館だより（各3,000部）

号	発行月	内 容 *カッコ内は執筆者
68	9月	・パネル・ケース展示「公文書、歴史資料となる—『和歌山県章募集一件』・『トルコ慰霊祭関係』の紹介—」（砂川佳子・寺前駿） ・令和6年度新収古文書の紹介 ・120年ぶりの再発見!! 紀州藩付家老安藤家家臣の小出家に伝わった古文書（西山史朗） ・令和6年度公文書の引継ぎ・収集
69	3月	・文書館資料から見る野上鉄道史（1） 幻の前史—新発見文書から見える「海草閣」の胎動—（藤隆宏） ・藩主に従って東奔西走する御供番—紀州藩士落合桑輔の幕末の記録から—（西山史朗） ・文書館の職場体験学習での取組（寺前駿） ・令和7年度歴史講座 ・『和歌山県立文書館年報・研究報告』第2号の刊行

カ 外部講師（教育連携を除く）

- ・和歌山大学連携展開科目「博物館概論」ゲストスピーカー（1コマ）

月 日 6月17日

演 題 「和歌山県立文書館の仕事」

講 師 藤隆宏

出席者 38名

・橋本ロータリークラブ例会卓話

月 日 10月30日

演 題 「歴史資料の保存と活用 ～和歌山県立文書館（もんじょかん）のお仕事～」

講 師 龍野直樹

出席者 約40名

・和歌山大学教育学部「日本史概説」ゲストスピーカー（1 コマ）

月 日 11月4日

演 題 「和歌山の資料から歴史授業をつくる」

講 師 寺前駿

出席者 25名

・和歌山大学連携展開科目「博物館資料論」ゲストスピーカー（2 コマ）

月 日 11月20・27日

演 題 「和歌山県立文書館における歴史資料の収集と業務について（①古文書）」
「和歌山県立文書館における歴史資料の収集と業務について（②公文書）」

講 師 砂川佳子

出席者 66名

・県立博物館・友の会 共催イベント／現地見学会

月 日 2月28日

演 題 「和歌山城周辺の茶室巡り」

講 師 前田正明（県立博物館）、杉山純平（わかやま歴史館）、砂川佳子

出席者 20名

・鶴城の森～鶴ヶ城址を知ろう会～「地域文化継承フォーラム—杉谷家会場—」

月 日 3月8日

演 題 「杉谷欽十郎・静一郎らに関係した幕末～大正期の重要人物」

講 師 藤隆宏

出席者 7名

キ 当館刊行物以外の執筆

・産経新聞和歌山版「先人からのメッセージ 防災減災わかやま」

6月29日「『旧請川村役場文書』の昭和28年水害関係資料（田辺市教育委員会所蔵）」
（西山史朗）

・全史料協近畿部会会報「Network-D」No.94

3月4日「全史料協近畿部会第175回例会参加記」（寺前駿）

(10) その他の業務

ア 和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議

平成27年2月に、県内の博物館、美術館、市町村教育委員会等が共同で大規模災害に備える連絡組織「和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議」（以下「和博連」という。）が発足した。和博連は、平時は文化財災害対策の情報を交換・共有し、災害時には館蔵品被害対策の相互協力や被災資料の救出、県外からの資料救援ボランティアの受入体制整備等を行うものである。

当館は、発足当初から幹事館を務めている。令和7年度は、特に活動を行っていない。

イ 研修・会議への参加（文書等の保存活用に直接関係するもの）

- ・国立公文書館「令和7年度全国公文書館長会議」

月 日 6月12日～13日

会 場 ベルサール九段・国立公文書館（東京都千代田区）

- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第175回例会「地方公文書館における学校連携事業の現在―福井県と滋賀県の事例を中心に―」

月 日 6月14日

会 場 滋賀県庁北新館

- ・独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター「令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援事業・被災文化財等救援事業活動報告」

月 日 6月30日～7月1日

会 場 オンライン受講

- ・和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会「和歌山移民史教育の実践を目指した指導者研修」

月 日 7月29日～8月6日

会 場 アメリカ合衆国カリフォルニア州等

- ・内閣府第6回公文書管理フォーラム「地方公共団体における公文書管理の近年の取組について」

月 日 8月8日

会 場 オンライン受講

- ・国立公文書館「アーカイブズ研修Ⅲ（前期）」

月 日 9月8日～12日

会 場 国立公文書館

- ・和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会「和歌山移民史教育の実践を目指した指導者研修」

月 日 10月24日～25日

会 場 JICA横浜海外移住資料館等

- ・和歌山県・広川町「「世界津波の日」制定10周年記念シンポジウム」

月 日 11月21日

会 場 和歌山県民文化会館

- ・富士フィルム「行政文書電子化webセミナー」

月 日 12月5日

会 場 オンライン受講

- ・国立公文書館国際オンラインセミナー「アーカイブズ資料の保存と災害対策」

月 日 1月23日

会 場 オンライン受講

- ・国立公文書館「アーカイブズ研修Ⅱ」

月 日 2月5日～6日

会 場 オンライン受講

- ・アジア歴史資料センター「高校現場から学ぶ！アジ歴資料の活用方法―事例と可能性」

月 日 2月27日

会 場 オンライン受講

ウ 見学・視察対応

- ・日高町高家老人クラブ

日 時 4月3日

見学者 約20名

内 容 当館所蔵資料のうち、日高町に関する資料について紹介した。

- ・県文化学術課インターンシップ

日 時 8月27日

見学者 2名

内 容 大学生の県庁インターンシップの一環として文書館の施設や役割について紹介した。

- ・和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会関連調査

日 時 10月9日

見学者 4名

内 容 当館所蔵『堂本家文書』を紹介し、アメリカに暮らす堂本家の子孫たちのもとに残る資料とあわせて調査することで双方の地域資料の理解を深め、共有を図った。

- ・紀美野町文化財保護審議会

日 時 2月20日

見学者 9名

内 容 当館で実施していた紀美野町を対象とする民間所在資料保存状況調査に関する経過報告及び収蔵庫を案内し、当館業務の紹介と資料保存の重要性について説明した。

エ メディア掲載・放送記録

月 日	メディア名	見出し等
5月11日	和歌山特報	公文書、歴史資料となる『和歌山県章募集一件』『トルコ慰霊祭関係』
6月4日	読売新聞	県章制定過程 公文書で「トルコ慰霊祭」資料も紹介
8月1日	和歌山特報	授業で使える歴史資料 県立文書館で展示、出征幟も
8月9日	わかやま新報	県立文書館で展示 戦時下の社会―出征を祝う人々―『榎家文書』から
11月29日	産経新聞	昭和から100年を振り返る 奈良と和歌山が歩んだ過去と未来（写真提供）
12月24日	わかやま新報	中学生の学び展示も 江戸の書店文書を公開 文書館 県歴史資料アーカイブ

(11) 文書館の利用状況

ア 月別利用状況（特別整理期間 令和7年12月2日～12月12日）

月	利用者数	収蔵庫資料閲覧申請冊数及び件数						公文書の 行政利用		複写 申請 枚数	開館 日数	デジタル アーカイブ アクセス数	
		古文書		公文書		行政資料・ 歴史図書等						アクセス数	ユーザー数
		冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数				
4	137	4	1	1	1	0	0	9	2	155	25	1,363	318
5	143	1	1	1	1	48	2	15	3	101	26	1,374	375
6	128	221	13	0	0	122	5	60	5	2,627	24	1,598	422
7	152	21	7	0	0	9	4	24	2	3,750	26	1,720	401
8	180	57	6	2	2	1	1	38	5	433	26	1,370	370
9	141	211	7	6	2	1	1	148	5	1,968	24	1,799	607
10	165	10	4	0	0	44	3	80	5	2,129	26	2,422	651
11	232	40	8	12	2	0	0	34	3	4,740	25	1,250	321
12	63	12	7	0	0	0	0	9	2	183	14	1,389	381
1	106	35	9	7	2	1	1	15	4	932	23	1,686	409
2	114	24	8	2	1	28	2	52	4	362	23	1,208	278
3	129	182	10	9	1	12	3	22	5	2,401	25	1,739	421
合計	1,690	818	81	40	12	266	22	506	45	19,781	287	18,918	4,954

イ 年度別利用状況

年度	利用者数	収蔵庫資料閲覧申請冊数及び件数						公文書の 行政利用		複写 申請枚数	開館 日数	デジタル アーカイブ アクセス数	
		古文書		公文書		行政資料・ 歴史図書等						アクセス数	ユーザー数
		冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数				
H5~R2	90,840	8,635	1,827	751	197	2,734	656	10,877	1,643	254,343	7,758	19,212	6,248
令和3	1,212	221	50	1	1	87	21	456	52	6,921	287	9,302	3,034
令和4	1,234	294	58	50	8	91	14	287	44	9,601	288	8,539	2,845
令和5	1,472	652	86	14	3	95	14	1,044	63	10,866	288	20,451	5,113
令和6	1,433	598	80	44	8	428	29	365	33	22,923	285	17,243	4,588
令和7	1,690	818	81	40	12	266	22	506	45	19,781	287	18,918	4,954
合計	97,881	11,218	2,182	900	229	3,701	756	13,535	1,880	324,435	9,193	93,665	26,782

* ウェブサイトアクセス数の解析ツールとして、Google Analytics 4を採用している。

ウ レファレンス記録件数

年度	相談内容（記録件数）				計
	古文書	公文書	行政刊行物等	その他	
H 5 ～ R 2	293	32	29	408	762
令和 3	12	6	7	14	39
令和 4	20	8	4	20	52
令和 5	38	6	13	26	83
令和 6	32	12	20	23	87
令和 7	32	10	13	29	84
合計	427	74	86	520	1,107

* 上記の件数は当館職員がレファレンス記録票を作成したものに限り、すべての相談件数を集計したものではない。また、1件の相談で複数の分野にまたがる場合もあるため、必ずしも「相談内容（記録件数）」と内訳の合計は一致しない。

エ 文書等の館外貸出し

貸出文書等	貸出先	展覧会等名・会期
守先文庫 6 点 山裾織布場文書 3 点	和歌山県立博物館	常設展「きのくにの歩み一人々の生活と文化―」 通年
第60回展示パネル 8 点 第61回展示パネル 6 点 第62回展示パネル 9 点 第63回展示パネル10点	日高振興局	外交史料展「外交史料と近代日本のあゆみ」 【前期】 令和 7 年 4 月11日～ 4 月30日 【後期】 令和 7 年 5 月 9 日～ 5 月28日
宮本守中・道夫関係資料 3 点	和歌山県立 近代美術館	「和歌山をめぐるローカリズムとモダニズム」 令和 7 年 7 月12日～ 9 月15日
公文書 2 点	和歌山県立 紀伊風土記の丘	秋期特別展「遙かなる古墳時代の海へ 紀伊半島と海をめぐる交流」 令和 7 年10月 4 日～12月 7 日
紀州家中系譜並に親類書書 上げ 1 点 県立図書館移管資料 1 点	わかやま歴史館	冬の企画展示「田中善蔵―追廻門外に散った紀州藩の改革者―」 令和 8 年 2 月 3 日～ 3 月16日

3 関係例規

(1) 和歌山県立文書館設置及び管理条例

平成5年3月30日和歌山県条例第1号

(設置)

第1条 歴史資料として重要な文書その他の資料（以下「文書等」という。）の収集及び保存を行うとともに、これらの活用を図り、もって県民の学術及び文化の発展に寄与するため、和歌山県立文書館（以下「文書館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 文書館は、和歌山市に置く。

(業務)

第3条 文書館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 文書等の収集及び保存に関すること。
- (2) 文書等の利用に関すること。
- (3) 文書等の調査研究に関すること。
- (4) 資料集等の編さん及び刊行に関すること。
- (5) 文書等についての知識の普及啓発に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、文書館の設置の目的を達成するため必要な業務

(委任)

第4条 この条例に定めるもののほか、文書館の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第3条第2号の規定は、同年7月31日から施行する。

(2) 和歌山県立文書館管理規則

平成5年3月31日和歌山県規則第21号

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立文書館設置及び管理条例（平成5年和歌山県条例第1号。以下「条例」という。）第4条の規定により、和歌山県立文書館（以下「文書館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 文書館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、土曜日及び日曜日並びに国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）は、午前10時から午後5時までとする。

2 文書館長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館時間を変更することができる。

3 館長は、前項の規定により開館時間を変更しようとするときは、あらかじめその旨を文書

館に掲示しなければならない。

(休館日)

第3条 文書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- (3) 館内整理日(1月にあっては1月4日(その日が月曜日に当たるときは、その翌日)、2月から12月までにあっては当該月の第2木曜日(その日が休日に当たるときは、その翌日))
- (4) 特別整理期間(館長が定める10日間。この場合、当該期間の計算には、月曜日を算入しない。)
- (5) 臨時休館日(前各号に掲げるもののほか、館長が必要と認め知事の承認を得た日)

2 前条第3項の規定は、前項第4号又は第5号の規定により休館する場合に準用する。

(入館制限等)

第4条 館長は、次の各号に掲げる者に対し、入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 条例第1条に規定する文書等(以下「文書等」という。)を損傷し、又は損傷するおそれのある者
- (2) 文書館の秩序を乱し、又は乱すおそれのある者

(閲覧)

第5条 文書等の閲覧を請求しようとする者は、別記第1号様式による閲覧申請書を館長に提出しなければならない。

(利用に供しない文書等)

第6条 文書等のうち、次に掲げるのは、利用に供しないものとする。

- (1) 事案の完結後30年を経過しない県の公文書
- (2) 個人若しくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供するのが不適当な文書等の全部又は一部
- (3) 寄贈又は寄託を受けた文書等で、寄贈者又は寄託者が利用に供さない旨指定したもの
- (4) 館長が整理又は保存上支障があると認めた文書等

(複写の承認及び費用負担)

第7条 文書等の複写を希望する者は、別記第2号様式による複写承認申請書を館長に提出しなければならない。

2 文書等の複写に必要な費用は、申請者が負担するものとする。

(館外貸出し)

第8条 文書等の貸出しは、行わないものとする。ただし、館長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(損害賠償)

第9条 利用者は、文書館の文書等を亡失し、又は損傷した場合は、その損害を賠償しなければならない。

(寄贈又は寄託)

第10条 館長は、文書等の寄贈又は寄託を受けることができる。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、文書館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、同年7月31日から施行する。

附 則（平成19年3月30日規則第28号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（令和6年8月2日規則第71号） （施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現にあるこの規則による改正前の様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

別記第1号様式(第5条関係)

閲 覧 申 請 書

年 月 日

和歌山県立文書館長様

氏 名		勤務先又は 学 校 名	
住 所		電 話 番 号	
閲 覧 的 目 的			
整 理 番 号	文 書 名	*出	*納

注 *印の欄には、記入しないこと。

別記第2号様式(第7条関係)

複 写 承 認 申 請 書

年 月 日

和歌山県立文書館長様

氏 名		勤務先又は 学 校 名	
住 所		電 話 番 号	
使 用 的 目 的			
複 写 の 方 法	1 電子式複写 2 写真		
整 理 番 号	文 書 名	枚 数	
備考			

遵守事項
 (1) 複写物は、この申請書に記載した使用目的以外に使用しないこと。
 (2) 複写物の使用によって著作権法上の問題が生じたときは、申請者がその責任を負うこと。

(3) 和歌山県立文書館管理要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、和歌山県立文書館管理規則（平成5年和歌山県規則第21号。以下「規則」という。）第11条の規定により、和歌山県立文書館（以下「文書館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(遵守事項)

第2条 古文書、公文書その他の資料（以下「文書等」という。）の閲覧を希望する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 筆記用具以外の携帯品は、閲覧室に持ち込まないこと。
- (2) 文書等を汚損又は破損するような行為をしないこと。
- (3) 閲覧室以外の場所での文書等の閲覧をしないこと。
- (4) 閲覧室において喫煙及び飲食をしないこと。
- (5) その他館長が必要と認め定めたこと。

(閲覧方法)

第3条 文書等のうち古文書の閲覧は、複製物により行うものとする。ただし、館長が必要と認める場合は、原本の閲覧を許可するものとする。

(文書等の複写)

第4条 館長は、文書等が複写によって破損のおそれがあるときは、複写を行わないことができる。

- 2 複写部数は1部とする。
- 3 文書等の複写は、文書館の職員又は館長の指定する者が行うものとする。
- 4 館長は、文書等の複写する場合において、申請者から次のとおり規則第7条第2項の規定による費用を徴するものとする。

複写使用機種	部数	料金
電子式複写機	1部	10円

(館外貸出)

第5条 規則第8条ただし書に規定する館長が特に必要と認めたときは、社会教育等の公共的目的を持つ展示会への出品等をする場合で、文書等の亡失及び損傷の防止に対し十分な配慮がなされていることが確認できるときとする。

- 2 文書等の館外貸出しの申請は、文書館文書等貸出許可申請書（別記第1号様式）による。
- 3 館外貸出しの期間は、60日以内とする。

(公文書の利用協議)

第6条 館長は、和歌山県公文書管理規程（平成13年和歌山県訓令第12号）第61条第2項の規定により引き継がれた保存文書のうち事案完結後30年を経過したものについて、当該文書の主務課長と保存期間及び一般利用に関する協議を行うものとする。

(行政利用)

第7条 公文書を行政利用する場合は、文書館保存公文書利用票（別記第2号様式）を館長に提出しなければならない。

- 2 行政利用により公文書を貸出する場合は、文書館保存公文書貸出簿（別記第3号様式）に

所要事項を記入しなければならない。

(文書等の寄贈)

第8条 文書等の寄贈申込みは、文書等寄贈申込書（別記第4号様式）によるものとする。

2 前項の規定により申込みを受けた場合には、寄贈文書等受領書（別記第5号様式）を交付するものとする。

3 寄贈文書等は寄贈文書等整理簿（別記第6号様式）により、適正に管理するものとする。

(文書等の寄託)

第9条 文書等の寄託申込みは、文書等寄託申込書（別記第7号様式）によるものとする。

2 前項の規定により申込みを受けた場合には、文書等寄託契約書（別記第8号様式）を締結するものとする。

3 寄託文書は寄託文書等整理簿（別記第9号様式）により、適正に管理するものとする。

(収蔵庫への立入りの制限)

第10条 原則として、文書館の職員以外の者の収蔵庫への立入りを禁止する。ただし、館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(収蔵庫内の安全)

第11条 収蔵庫内の通気、防湿等に注意し、文書等の損傷の予防に努めるものとする。

2 収蔵庫内においての喫煙、又は火気使用はこれを禁止する。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は館長が定める。

附 則

この要綱は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第5条までの規定については、同年7月31日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和6年10月11日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現に締結している文書等の寄託に係る契約については、なお従前の例による。

別記第1号様式（第5条関係）

文 書 館 文 書 等 貸 出 許 可 申 請 書		* 貸 出 番 号	
和歌山県立文書館長 様			
次のとおり文書館文書等の貸出しを受けたいので、申請します。			
申請年月日	年 月 日	* 許可年月日	年 月 日
申 請 者	住所 氏名 電話		
整 理 番 号	文 書 名	冊(点)数	備 考
貸 出 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日		
利用の目的			
管理の方法			
* 貸 出 日	年 月 日	* 返 却 日	年 月 日
* 備 考			

注 * 印の欄には、記入しないこと。

別記第2号様式（第7条関係）

文書館保存公文書利用票

年 月 日

和歌山県立文書館長 様

所属名

氏 名

[illegible]

注 * 印の欄には、記入しないこと。
文書を借用する場合は、別の手続をとること。

別記第3号様式(第7条関係)

[illegible]

別記第4号様式（第8条関係）

文書等寄贈申込書

年 月 日

和歌山県立文書館長 様

住所

氏 名

1

和歌山県立文書館管理要綱第8条の規定により、文書等を寄贈したいので下記のとおり申込みます。

言

1 文書名・数量

(別紙目録のとおり)

2 特約事項

別記第5号様式（第8条関係）

寄贈文書等受領書

年 月 日

様

和歌山県立文書館長

年 月 日に寄贈申込みのありました下記文書を確かに受領しました。

記

1 文書名・数量

（別紙目録のとおり）

2 特約事項

別記第6号様式（第9条関係）

寄贈文書等整理簿

番号	寄贈者の住所・氏名	文書等の内容	数量	寄贈年月日	備考

別記第7号様式（第9条関係）

文書等寄託申込書

年 月 日

和歌山県立文書館長 様

住 所

氏 名

和歌山県立文書館管理要綱第9条の規定により、文書等を寄託したいので下記のとおり申込みます。

記

1 文書名・数量

（別紙目録のとおり）

2 特約事項

第1条 甲は、乙に対し、甲の所有する文書等を寄託し、乙は、これを保管する。

第2条 寄託の期間は、 年 月 日から 年 月 日までの 年間とする。ただし、寄託期間の満了から2か月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に従前の契約と同一条件で契約したものとみなす。

第3条 乙は、乙所有文書と同様の注意をもって寄託文書を保存するものとする。
2 乙は、寄託文書の保存及び次条に定める利用のため必要があるときは、補修をすることができる。

5 乙は、前項により作成した複製物について、寄託文書の返還後も前2項に規定する利用を行うことができる。

7. 和歌山県知事

撰理驗等書文託寄

[illegible]

(4) 和歌山県立文書館文書等取扱基本要領

(趣旨)

第1条 この要領は、和歌山県立文書館管理要綱第12条の規定に基づき、和歌山県立文書館（以下「文書館」という。）における歴史資料として重要な文書その他の資料（以下「文書等」という。）の取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

(文書等の区分等)

第2条 文書館が取り扱う文書等の区分、種別及び対象は、次の表のとおりとする。なお、表中引継文書を除く全ての文書等は、特別の管理を行う歴史的な資料として、和歌山県情報公開条例（平成13年和歌山県条例第2号）第2条第2項第3号に該当するものである。

区分	種別	対象
古文書	寄贈文書	和歌山県立文書館管理規則第10条の規定により寄贈を受けた文書等のうち行政刊行物等を除くもの
	寄託文書	和歌山県立文書館管理規則第10条の規定により寄託を受けた文書等
	購入文書	文書館が貴重な歴史資料と認めその散逸を防止するために購入した文書等のうち行政刊行物等を除くもの
	複製資料	複製により収集した文書等
公文書	引継文書	和歌山県公文書管理規程第61条第2項の規定により引き継がれた永久保存文書
	収集文書	和歌山県公文書管理規程第70条第1項等の規定により収集した歴史的価値のある廃棄文書等
	受入文書	和歌山県議会、監査委員、各種行政委員会及び県出資法人等から受け入れた歴史的価値のある廃棄文書等
行政刊行物等	行政資料	平成12年和歌山県訓令第23号に基づき収集する行政刊行物等 和歌山県議会、監査委員、各種行政委員会、及び県出資法人等の刊行物等 県内市町村等の刊行物等
	研究資料	和歌山県に関する図書、出版物及び資料 文書館（公文書館）に関する図書、出版物及び資料
	その他の資料	その他文書館長が必要と認めた刊行物等

(文書等の保存及び利用)

第3条 文書館が収集した文書等は収蔵庫で保存し、目録を整備して利用に供する。

2 文書等のうち特に重要なもの及び利用回数の多いものは、原本の保存に配慮して複製物を作成し、これを利用に供するものとする。

(収集基準)

第4条 古文書及び公文書の収集基準は、次のとおりとする。

(1) 古文書は、和歌山県及び県内各地域の歴史を将来に伝えるために重要と認められる書状、記録等を、それが作成された年代にとらわれずに収集するものとする。

(2) 公文書の収集基準は別に定めるものとする。

(委任)

第5条 この要領に定めるもののほか、文書等の収集・整理・保存・利用に関し必要な事項は、

文書館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成13年3月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成13年7月19日から施行する。

附 則

この要領は、平成14年11月19日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年7月18日から施行する。

(5) 和歌山県行政刊行物等の収集に関する訓令

平成12年7月11日

訓令第23号

庁中一般

各地方機関

貴重な歴史資料となりうる県行政刊行物等の散逸を防ぐとともに、それらを長期にわたり有効活用するため、各所属長は、行政刊行物等を発行したときは、発行日から1月以内に行政刊行物等発行通知書（別記様式）により和歌山県立文書館長に通知するとともに、当該行政刊行物等を2部文書館に送付しなければならない。

記

行政刊行物等とは、各所属が職務上作成した印刷物で次に掲げるものをいう。

- 1 議会資料、監査資料、広報資料、統計資料、調査報告書、計画書、要望書、各所属の業務概要、事業又は施策の実績報告、研究紀要その他これに類するもの
- 2 地図、ちらし、パンフレットその他これに類するもの

別記様式

行政刊行物等発行通知書

年 月 日

和歌山県立文書館長 様

所属長名

行政刊行物等の名称	発行年月	備考
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

- (注) 1. 当該行政刊行物等に副題、年度(年)等の記載があるときは、「行政刊行物等の名称」の欄に、それらを併せて記入すること。
2. 一般公衆による利用を適当と認めない場合、あるいは行政による利用の制限等がある場合は、「備考」の欄に、その理由を記入すること。

Ⅱ 研究報告

収蔵史料目録

『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）

和歌山県立文書館

収蔵史料目録『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）の公開

収蔵史料目録『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）は、和歌山県立文書館（以下、「当館」という。）所蔵の『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（以下、「『家譜』」という。）のうち、虫損により固着していたものを補修し、開披できるようになり再撮影した656点を収録した目録である。本目録は、当館閲覧室に備え付けて利用に供するとともに、本誌でも公開する。

『家譜』は、平成5年の当館開館時に、和歌山県立図書館から移管を受けた紀州藩庁文書に含まれていた、紀州藩士のいわば履歴書ともいえるべきもので、15,759点にのぼる文書群である。

『家譜』を含む紀州藩庁文書は和歌山県立図書館所蔵時から一般公開されており、同時に、虫損等による破損があることから裏打ちによる補修が行われていた。当館への移管後も引き続き公開するとともに、保存状態が悪いものについて平成6年度から同16年度までは裏打ちによる補修を行い、同17年度以降はリーフキャスト（漉嵌め）法による補修を行ってきた。

目録作成のための整理も行われ、平成22年度に『収蔵史料目録十 紀州家中系譜並に親類書書上げ（上）』を、翌23年度に『収蔵史料目録十一 紀州家中系譜並に親類書書上げ（下）』（以下、合わせて「『家譜』目録」という。）を刊行した⁽¹⁾。

『家譜』の閲覧にあたっては、原則としてマイクロフィルム撮影したものを印刷した写真帳を利用に供しているが、『家譜』目録で「*虫損固着」と表記されているものは、固着により冊子を開披しての撮影ができておらず、また、補修が完了し、開披が可能になったものでも撮影できていなかったため、原本の特別閲覧で利用に供してきたものであり、いずれも複製物による利用ができなかった。

しかし、『家譜』は紀州藩に関する歴史研究のみならず先祖調べ等で最も利用頻度の高い文書群であるため、継続して専門業者に委託して優先的に補修を行ってきた。令和5年度に至り、一通りの補修を終えたことから、令和7年度に、補修が完了して開披できるようになった656点の撮影を行い、別冊として新たに写真帳を作成したことにより、複製物による利用に供することが可能となった。

『家譜』目録の補遺として、利用可能となった656点を収録したのが本目録である。本目録に収録した資料の多くは、『家譜』目録で「*虫損固着」と表記されているものである。また、補修により、新たに氏名の判読が可能となったものや、新たな冊子の存在が判明したものなどがあったため、本目録に掲載しており、当館において複製物による閲覧・複写が可能である。

目録の体裁等は基本的に『家譜』目録に準じたもので、「この目録の使い方」で概説している。修正した『家譜』の一覧も提示しているので、検索及び利用にあたっては、『家譜』目録と合わせて参照されたい。

『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（補遺）の目録作成・解説は、西山史朗が担当した。

注

- (1) 以上、『家譜』の概略及び修復事業の概要・経緯等については、松島由香「『紀州藩家中系譜並に親類書書上げ』の修復事業について」・「収蔵資料の紹介⑦『紀州藩家中系譜並に親類書書上げ』」（『和歌山県立文書館だより』第8号、平成13年）、藤隆宏「文書館における古文書の修復について」（『和歌山県立文書館紀要』第7号、平成14年）、「解説」（『収蔵史料目録十 紀州家中系譜並に親類書書上げ（上）』、和歌山県、平成23年）、遊佐教寛「縦の「系譜」・横の「親類書」」（『収蔵史料目録十一 紀州家中系譜並に親類書書上げ（下）』、和歌山県、平成24年）を参照。

この目録の使い方

- 1、この目録に収録した資料は、『紀州家中系譜並に親類書書上げ』のうち、虫損により固着していたものを修復し、開披できるようになった656点を、令和7年度に撮影したものです。
- 2、この目録に収録した資料の多くは、収蔵史料目録第10巻及び11巻（以下、『家譜』目録という。）では「*虫損固着」と記載されています。ただし、一部、修復により新たに氏名等が判明したもの、新たな冊子の存在が判明したものがあり、この目録に掲載しています（下記10も参照のこと。）。
- 3、この目録では、資料番号、表題、氏、備考の項目を設定しています。
- 4、配列は、氏の読みの五十音順を採用しています。
- 5、資料番号は、『家譜』目録の資料番号を踏襲していますので、閲覧申請などはこの番号を利用してください。
- 6、修復によって固着していた複数の資料を確認・分離したことにより、資料番号に枝番号を付したものがああります。

（例）『家譜』目録 上編 97頁 2210「太田」系譜 → 2210-1「太田」系譜
2210-2「太田」親類書

- 7、この目録では、氏の項目には苗字のみを記載しています。
- 8、表題は、資料の表紙に書かれた「先祖書（并）親類書」、「系譜」、「親類書」、「由緒書」などの表題を示しています。
表題は以下のとおり略記しました。

「先祖書」	→ 先	「先祖書（并）親類書」	→ 先親	「由緒書」	→ 由
「系譜」	→ 系	「親類書」	→ 親		

- 9、この目録に収録した資料は、和歌山県立文書館において複製物（新たに作成した別冊）による閲覧・複写が可能です。
- 10、次ページの表1は、修復の結果、『家譜』目録記載の氏名とは異なる氏名であることや、別の氏名の資料が固着していたことが判明したものです。

表1

『家譜』 目録 上・下編				本目録		
編	ページ	資料番号	氏	ページ	資料番号	氏
上	111	2620	岡田	5	2620-1	岡田
				1	2620-2	大嶋
上	112	2656	(岡部)	3	2656	岡井
上	114	2684	氏名未詳	6	2684	小川
上	121	2748	(岡本)	4	2748	小笠原
上	121	2782	(岡本)	4	2782	岡井
上	125	2892	(小笠原)	1	2892	大久保
上	132	3127	(奥田)	6	3127-1	奥田
				4	3127-2	小笠原
上	163	3878	(鎌田)	10	3878	勝田
上	165	3921	(亀井)	13	3921	河村
上	165	3922	(亀井)	13	3922	川村
上	276	6603	志賀	14	6603-1	志賀
				14	6603-2	芝田
下	41	8640	田原	15	8640-1	田原
				15	8640-2	田宮
下	188	12178.1	堀口	17	12178.1-1	堀口
				17	12178.1-2	本多

資料番号	表題	氏	備考
6569	系	塩谷	
2060	親	尾池	
2061	親	尾池	
2073	親	大石	
3259	先	大井田	
2075	先親	大江	
2076	系	大岡	
2077	親	大岡	
2078	親	大岡	
2079	親	大岡	
2080	親	大岡	
2084	親	大岡	
2892	親	大久保	『家譜』(上編)125頁では「小笠原」となっているが「大久保」と判明。
2110-1	系	大倉	
2110-2	親	大倉	
2130-1	親	大崎	
2130-2	系	大崎	
2130-3	親	大崎	
2131	系	大崎	
2132	親	大崎	
2133	親	大崎	
2134	親	大崎	
2146	親	大沢	
2151	親	大沢	
2152	系	大沢	
2153	親	大沢	
2166	親	大沢	
2191	親	大嶋	
2192	先	大嶋	
2193	系	大嶋	
2620-2	親	大嶋	『家譜』(上編)111頁の2620「岡田」に固着していたもの。
2202	親	大菅	
2203	親	多田	
3430	系	多田	
2208	親	太田	
2210	系	太田	
2211	親	太田	

資料番号	表題	氏	備考
2216-1	系	太田	
2216-2	親	太田	
2227	親	太田	
2228-1	親	太田	
2228-2	系	太田	
2230	系	太田	
2231	親	太田	
2235	親	太田	
2236	親	太田	
2241	系	太田	
2243	親	太田	
2244	親	太田	
2246	親	太田	
2251	親	太田	
2252	先	太田	
2253-1	系	太田	
2253-2	親	太田	
2257-1	系	太田	
2257-2	親	太田	
2273	先親	太田	
2274	系	太田	
2275	親	太田	
2279-1	系	太田	
2279-2	親	太田	
2280	系	太田	
2283	親	太田	
3283	親	太田	
2309	親	大高	
2310	親	大高	
2312	先親	大高	
2315	親	大竹	
2316	系	大竹	
2318	系	大谷	
2319	親	大谷	
2320	親	大谷	
2321	先親	大谷	
2325-1	系	大谷	

資料番号	表題	氏	備考
2325-2	親	大谷	
2326-1	系	大谷	
2326-2	親	大谷	
2329	親	大谷	
2335	系	大谷	
2341	系	大谷	
2395	系	大橋	
2396	親	大橋	
2401	系	大橋	
2402	親	大橋	
2403	親	大橋	
2405-1	系	大橋	
2405-2	親	大橋	
2409	親	大橋	
2410-1	系	大橋	
2410-2	親	大橋	
2411	親	大橋	
2412	親	大橋	
2414	系	大橋	
2416	親	大橋	
2417-1	親	大畑	
2417-2	親	大畑	
2418	系	大畑	
2421	親	大畑	
2430	親	大平	
2431	系	大平	
2455	系	大村	
2463	親	大村	
2464	親	大村	
2465-1	系	大村	
2465-2	親	大村	
2466	親	大森	
2494	親	大屋	
2509	親	岡	
2511-1	系	岡	
2511-2	系	岡	
2511-3	親	岡	

資料番号	表題	氏	備考
2512	系	岡	
2513	系	岡	
2514	親	岡	
2515	親	岡	
2518	親	岡	
2656	親	岡井	『家譜』（上編）112頁では「岡部」となっているが「岡井」と判明。
2782	親	岡井	『家譜』（上編）121頁では「岡本」となっているが「岡井」と判明。
2550	親	岡崎	
2748	系	小笠原	『家譜』（上編）121頁では「岡本」となっているが「小笠原」と判明。
2880	親	小笠原	
2891	親	小笠原	
2901	親	小笠原	
2902	親	小笠原	
2907	親	小笠原	
2910	親	小笠原	
2911	親	小笠原	
2916	親	小笠原	
2919	親	小笠原	
2920	系	小笠原	
2924-1	系	小笠原	
2924-2	親	小笠原	
2929	系	小笠原	
2931	系	小笠原	
2933	系	小笠原	
2934	系	小笠原	
2935	系	小笠原	
2936	系	小笠原	
2940	系	小笠原	
2942	先親	小笠原	
2943	系	小笠原	
2944	系	小笠原	
2946	系	小笠原	
2949	親	小笠原	
2950	先親	小笠原	
2952	親	小笠原	
2956	親	小笠原	
3127-2	親	小笠原	『家譜』（上編）132頁の3127「(奥田)」に固着していたもの。

資料番号	表題	氏	備考
2467	親	岡田	
2568	親	岡田	
2569	系	岡田	
2570	親	岡田	
2588	親	岡田	
2591	親	岡田	
2592	親	岡田	
2593	系	岡田	
2600	親	岡田	
2601	親	岡田	
2605	系	岡田	
2606	親	岡田	
2607-1	系	岡田	
2607-2	親	岡田	
2611	親	岡田	
2612-1	系	岡田	
2612-2	親	岡田	
2614	系	岡田	
2618-1	系	岡田	
2618-2	親	岡田	
2619	親	岡田	
2620-1	親	岡田	
2625	系	岡田	
2626	親	岡田	
2627	系	岡田	
3177	親	岡田	
2635-1	系	岡野	
2635-2	親	岡野	
2638	親	岡野	
2639	系	岡野	
2642	系	岡部	
2643	親	岡部	
2646	先親	岡部	
2650	系	岡部	
2653	親	岡部	
2654	親	岡部	
2661	親	岡部	

資料番号	表題	氏	備考
2670	系	岡見	
2672	系	岡見	
2676	親	岡見	
2677	系	岡見	
2678	親	岡見	
2679	先親	岡見	
2964	系	小上	
2965	親	小上	
2685	親	岡村	
2692	系	岡村	
2693	親	岡村	
2715	先親	岡本	
2725	系	岡本	
2726	親	岡本	
2735	系	岡本	
2736	親	岡本	
2743	系	岡本	
2746	先	岡本	
2747	親	岡本	
2749	系	岡本	
2750	系	岡本	
2751	親	岡本	
2762	系	岡本	
2763	親	岡本	
2764	系	岡本	
2765	親	岡本	
2772	親	岡本	
2781	親	岡本	
2783	親	岡本	
2784	系	岡本	
2785	親	岡本	
2800	系	岡本	
2987	親	岡本	
2684	系	小川	『家譜』（上編）114頁では苗字不詳となっているが「小川」と判明。
2788	親	小川	
3101	系	荻野	
3102	親	荻野	

資料番号	表題	氏	備考
3119	系	奥倉	
3120	親	奥倉	
3123-1	系	奥田	
3123-2	親	奥田	
3124	系	奥田	
3125	親	奥田	
3126	親	奥田	
3127-1	親	奥田	
3129	親	奥田	
3130	先親	奥田	
3132	系	奥田	
3133	親	奥田	
3134	系	奥田	
3135	親	奥田	
3136	親	奥田	
3142	系	奥津	
3143	親	奥津	
3150	親	奥野	
3156	系	奥野	
3162-1	親	奥野	
3162-2	先	奥野	
3168	系	奥村	
3169	親	奥村	
3170	系	奥村	
3171-1	親	奥村	
3171-2	先親	奥村	
3175	系	奥村	
3176	親	奥村	
3198	親	小倉	
3211	親	小栗	
3221	系	尾崎	
3236-1	親	尾崎	
3236-2	先親	尾崎	
3220	親	長田	
3245	系	小関	
3249-1	系	尾関	
3250	系	尾関	

資料番号	表題	氏	備考
3251	系	尾関	
3252	親	尾関	
3253	系	尾関	
3255	親	尾関	
3260	先親	尾関	
3262	系	尾関	
3263	親	尾関	
3249-2	親	尾関	
3272	系	小田	
3273	親	小田	
3282	親	小田	
3289	系	小田	
3290	親	小田	
3269	系・親	小田部	
3299	親	落合	
3300	親	落合	
3301	親	落合	
3306	親	落合	
3308	先	落合	
3311	系	落合	
3312	親	落合	
3317	親	落合	
3320	親	落合	
3327	系	落合	
3328	親	落合	
3329	系	落合	
3330	親	落合	
3331	親	落合	
3332	系	落合	
3334	系	落合	
3336	親	落合	
3337	系	落合	
3346	系	落合	
3347	親	落合	
3348	親	落合	
3349	親	落合	
3351	系	落合	

資料番号	表題	氏	備考
3352	親	落合	
3353	系	落合	
3358	親	乙部	
3362	先親	小野	
3367	親	小野	
3368	系	小野	
3374	系	小野	
3375	親	小野	
3376	親	小野	
3378	親	小野	
3380	先親	小野	
3386	親	小野	
3387	親	小野	
3406	系	小野	
3407	親	小野田	
3408	親	小野田	
3414	先親	小原	
3409	系	小原	
3410	親	小原	
3423	系	尾村	
3424	親	尾村	
3429	親	小柳津	
3446	系	尾寄	
3449	親	尾寄	
3451	系	尾寄	
3222	親	尾寄	
3284	親	尾寄	
3462	系	垣村	
3463	親	垣村	
3471	先親	垣屋	
3483	系	筧	
3487	系	筧	
3488	親	筧	
3495	系	蔭山	
3496	親	蔭山	
3509	系	笠井	
3510	系	笠井	

資料番号	表題	氏	備考
3511	親	笠井	
3513	親	笠井	
3514	親	笠井	
3519	親	葛西	
3520	先親	葛西	
3521	親	葛西	
3524	系	笠原	
3525	親	笠原	
3526	親	笠原	
3534	先	笠姿	
3548	系	笠本	
3550	親	笠本	
3564	系	梶間	
3566	系	梶間	
3567	親	梶間	
3568	親	梶間	
3569	親	梶間	
3570	系	梶間	
3572	親	梶間	
3573	親	梶間	
3554	系	柏木	
3580	親	数見	
3584	親	数見	
3597	親	片岡	
3599	親	片岡	
3603	系	片岡	
3604	系	片岡	
3605	親	片岡	
3623	系	片野	
3624	親	片野	
3630	親	片野	
3636	親	片野	
3651	親	片野	
3653	系	片野	
3654	親	片野	
3655	系	片野	
3656	親	片野	

資料番号	表題	氏	備考
3527	親	片山	
3679	系	勝田	
3680	親	勝田	
3683	親	勝田	
3878	系	勝田	『家譜』（上編）163頁では「鎌田」となっているが「勝田」と判明。
3696	親	勝野	
3704	先親	勝野	
3706	親	勝野	
3707	親	桂	
3710	系	桂	
3712	由	葛野	
3715	系	葛山	
3716	親	葛山	
3724	親	加藤	
3731	系	加藤	
3732	親	加藤	
3734	系	加藤	
3735	親	加藤	
3736	親	加藤	
3743	系	加藤	
3744	親	加藤	
3746	系	加藤	
3747	親	加藤	
3749	系	加藤	
3750	親	加藤	
3751	系	加藤	
3758	系	加藤	
3759	系	加藤	
3760	先親	加藤	
3762	親	加藤	
3763	系	加藤	
3764	先親	加藤	
3769	系	金沢	
3771	親	金沢	
3773	親	金沢	
3774	先親	金沢	
3775	親	金沢	

資料番号	表題	氏	備考
3776	親	金沢	
3777	系	金沢	
3778	親	金沢	
3779	系	金沢	
3796	親	金谷	
3797	系	金谷	
3798	親	金谷	
3799	親	金谷	
3805	親	金谷	
3945	親	金谷	
3817	親	金森	
3819	親	金森	
3820	親	金森	
3829	系	金森	
3830	親	金森	
3781	系	可児	
3785	先親	可児	
3833	親	加納	
3849	先親	加納	
3860	系	加納	
3861	親	加納	
3868	系	加納	
3870	親	狩野	
3871	親	狩野	
3872	先親	狩野	
3873	系	狩野	
3888	系	鎌足	
3893	系	神谷	
3895	親	神谷	
3896	親	神谷	
3902	先親	神谷	
3903	系	神谷	
3904	親	神谷	
3912	系	亀井	
3916	系	亀井	
3920	系	亀井	
3804	親	川合	

資料番号	表題	氏	備考
3947	親	川合	
3954	親	川合	
3959	系	川合	
3960	親	川合	
3963	親	川合	
3968-1	系	川合	
3970	系	川合	
3971	親	川合	
3972	系	川合	
3982	親	川合	
3983	親	川合	
4001	親	川上	
4003	親	川上	
4004	親	川上	
4005	親	川上	
4006-1	先	川上	
4006-2	親	川上	
4011	親	河北	
4039	親	川北	
4040	系	川北	
4041	親	川北	
4042	系	川北	
4044	親	河口	
4106	親	河口	
4108	系	河口	
4113	系	河口	
4114	親	河口	
3571	親	川口	
4055	親	川口	
4056	親	川口	
4057	親	川口	
4077	系	川口	
4078	親	川口	
4080	親	川口	
4081	親	川口	
4119	親	川崎	
4120	親	川崎	

資料番号	表題	氏	備考
4134	先親	河嶋	
4149	親	河嶋	
4155	親	河嶋	
4156	系	河嶋	
4163	親	河嶋	
4164	親	河嶋	
4168	系	川嶋	
4169	親	川嶋	
4193	親	川瀬	
4199	親	河野	
4206	系	川端	
4207	親	川端	
4208	系	川端	
4209	親	川端	
4219	系	川部	
4220	親	川部	
3921	親	河村	『家譜』（上編）165頁では「亀井」となっているが「河村」と判明。
4231	系	河村	
4232	系	河村	
4233	親	河村	
4236	系	河村	
4237	系	河村	
4238	親	河村	
3922	親	川村	『家譜』（上編）165頁では「亀井」となっているが「川村」と判明。
4223	親	川村	
4224	先親	川村	
4262	系	川村	
4288	系	川村	
4320	系	神野	
5346	先親	神前	
5348	系	神前	
5365	親	神前	
5366	系	神前	
5367	親	神前	
5368	先親	神前	
6265	先	佐々木	
6594	系	志賀	

資料番号	表題	氏	備考
6596	先親	志賀	
6598	親	志賀	
6603-1	先親	志賀	
6603-2	先親	芝田	『家譜』(上編) 276頁の6603「志賀」に固着していたもの。
6764	系	嶋	
6937	先親	清水	
6938	系	清水	
6939	親	清水	
6940	親	清水	
6952	先親	清水	
6967	系	下條	
6968	先親	下條	
6975	先	下村	
6976	親	下村	
6977	先	下村	
6988	先親	下村	
6995	系	下村	
6999	先親	下村	
7000	先親	下村	
7003	系	下村	
7004	親	下村	
7007	先親	下和佐	
7045	系	白井	
7077	親	神保	
7219	系	杉山	
7241	親	鈴木	
7242	親	鈴木	
7246	親	鈴木	
7252	系	鈴木	
7253	親	鈴木	
7254	親	鈴木	
7296	系	鈴木	
7313	親	鈴木	
7420	系	鈴木村	
7421	親	鈴木村	
7448	先親	澄入	
7458	系	角田	

資料番号	表題	氏	備考
7459	系	角田	
7460	先親	角田	
7468	系	角谷	
7667	親	十河	
7682	先親	藺田	
7668	親	藺村	
7859	先親	高田	
8233	親	竹中	
8241	系	竹中	
8255	先親	武野	
8816	親	伊達	
8656	親	田端	
8640-1	先	田原	
8666	系	田渕	
8640-2	先親	田宮	『家譜』(下編) 41頁の8640「田原」に固着していたもの。
8850	先親	塚山	
8860	系	月山	
8936	親	辻	
8961	親	辻村	
8994	系	津田	
8995	親	津田	
8996	系	津田	
9008	系	津田	
9009	系	津田	
9010	親	津田	
9011-1	親	津田	
9011-2	系	津田	
9110	親	堤	
9194	系	津山	
9293	系	出嶋	
9223	系	寺崎	
9540	先	土井	
9541	先	土井	
9386	親	戸口	
9387	親	戸口	
9409	系	戸田	
9560	系	土肥	

資料番号	表題	氏	備考
9562	系	土肥	
9509-1	系	豊田	
9509-2	親	豊田	
9523	親	鳥居	
10036	先親	中村	
10037	親	中村	
10471	系	夏目	
10857	親	丹羽	
10858	系	布目	
10862	系	布目	
10863	親	布目	
10864	系	布目	
10865	親	布目	
10867	系	布目	
10870	親	沼田	
11152	先	萩原	
11236	系	畠山	
11486	親	馬場	
11336	親	土生	
11337	親	土生	
11328	先親	羽山	
11555	系	日根野	
12056-1	系	別所	
12056-2	親	別所	
12057	先親	別所	
12058	親	別所	
12067-1	系	別府	
12067-2	親	別府	
12078	親	別府	
12083	親	星合	
12089	先親	星野	
12090	系	星野	
12096	系	細谷	
12114-1	系	細野	
12114-2	親	細野	
12192	先親	堀田	
12197	親	堀田	

資料番号	表題	氏	備考
12118	系	堀	
12125	系	堀	
12129	系	堀	
12132	親	堀	
12133	先	堀	
12136	親	堀内	
12143	系	堀内	
12151	系	堀内	
12158	親	堀江	
12175	親	堀江	
12178.1-1	親	堀口	
12179	系	堀口	
12176	親	本多	
12178.1-2	親	本多	『家譜』（下編）188頁の12178.1「堀口」に固着していたもの。
12611	系	松川	
12612	記録	松川	
12543	親	松沢	
12809	系	松見	
13016	親	丸山	
13377	系	美濃部	
14342	先親	柳沢	
15233	親	吉川	
15234-1	系	吉川	
15234-2	親	吉川	
13960	親	和布浪	
13961	系	和布浪	
13962	親	和布浪	

令和 7 年度の民間所在資料保存状況調査について—紀美野町—

西山 史朗

令和 7 年度に和歌山県立文書館（以下、「文書館」という。）が紀美野町で実施した民間所在資料保存状況調査（以下、「民間所在資料調査」という。）について報告する。

文書館では、令和 6 年度の海南市を対象として実施した民間所在資料調査より、特定内容記録の重点的採集や個別文書群の詳細調査等を行わず、できるだけ多くの所在情報を収集するという、平成 9 年度から同 17 年度までに実施した当初の調査⁽¹⁾（以下、「前回調査」という。）とほぼ同形式の調査を実施している。この調査は、文書館の職員（文書専門員）が、文書群の現存を確認し、内容把握は原則として概要程度に抑え、所蔵者とのコミュニケーションを通じて今後の継続的な保管をお願いし、場合によっては地元教育委員会、文書館等が受入れを検討する、というスタイルである⁽²⁾。

1 調査方法

令和 7 年度は、紀美野町教育委員会の協力をいただき、紀美野町域を対象として、前回調査した 18 件を中心に調査を行った。

紀美野町は、平成 18 年に旧野上町と旧美里町が合併して成立した自治体で、両旧町とも前回調査は平成 9 年度から同 11 年度の間に実施した。町ごとに、地域史料保存調査員を委嘱して設置し、旧野上町域では 13 件の、旧美里町域では 5 件の、計 18 件の調査を行った⁽³⁾。

調査方法について、令和 6 年度は、調査に先立って前回調査時の所蔵者（管理者含む）及び御家族宛に手紙を送付し、その後電話連絡を行う形式をとっていたが、今回の調査では手紙ではなく調査アンケートを送付する形式に変更した。文書館での民間所在資料調査におけるアンケート利用は初めてであり、アンケートを活用した所在状況調査の方法や回答用紙の作成等については、福井県文書館及び奈良県地域創造部文化財課の事例を参考にした⁽⁴⁾。

アンケートを採用した理由は、アンケートの回答を得ることで所蔵者の近況や古文書の現状、相談ごと等について、実地調査が必要な場合あらかじめ把握できること、アンケートの回答記録をそのまま調査記録の一つとして活用できること、民間所在資料調査におけるアンケート調査のノウハウを蓄積していくといった点を企図したことによる。

アンケートの様式は参考資料 1 のとおりである。項目はできるだけ簡潔を旨とし、古文書の現在の所蔵者、古文書の有無や保管状況、自由記述等の項目を設定し、1 枚に収まるようにした。アンケートの送付にあたっては、民間所在資料調査とアンケート利用の趣旨を記載した文書及び前回調査時の記録概要を同封して送付した。記録概要は当時の調査員・対応者・古文書の概数・内容・保管場所・容器等の項目をまとめたもので、所蔵文書の確認及び記入の際に参考にしてもらうことを想定したものである。

アンケートの送付は 8 月に、調査対象者全 18 件のうち 15 件に送付した。送付しなかった 3 件は、4 月以降 8 月以前に所在の把握を完了していた文書や、文書館に寄託されていた文書⁽⁵⁾ 等である。アンケートの返信後、所蔵者に電話により、回答内容の詳細を確認するとともに古文書が残っている場合は、実地調査の許可を得た文書については調査を行った。古文書の所在が確認できなかった場合は、引続き所在確認を依頼し、発見された場合は連絡をいただくようお願いした。アンケートの返信がなかった場合は、紀美野町教育委員会を通じて連絡先の確認や、直接訪問するなどして調査し、最終的に、令和 6 年度の海南市を対象とした関連調査等も含む計 15 件の実地調査を行った（表 1）。

表 1 令和 7 年度に実施した民間所在資料調査一覧（全15件）

No.	調査実施日	調査等対象地域等	備 考
1	令和 7 年 4 月 24 日	紀美野町美里支所	町教育委員会との打合せも行う
2	5 月 13 日	海南市下津町塩津	令和 6 年度調査の関連調査
3	5 月 16 日	紀美野町長谷	
4	5 月 16 日	紀美野町長谷	区有文書の調査
5	5 月 21 日	海南市下津町塩津	令和 6 年度調査の関連調査
6	5 月 21 日	海南市下津町丸田	令和 6 年度調査の関連調査
7	6 月 21 日	紀美野町滝ノ川	近畿大学との合同調査
8	9 月 19 日	紀の川市貴志川町長山	もと旧美里町所在の文書群
9	令和 8 年 1 月 29 日	海南市幡川	令和 6 年度調査の関連調査
10	2 月 14 日	紀美野町梅本	
11	2 月 14 日	紀美野町松瀬	
12	2 月 25 日	紀美野町小西	
13	3 月 10 日	紀美野町毛原宮	
14	3 月 19 日	紀美野町福田	文書館寄託岡本家文書の関連調査
15	4 月 8 日	紀美野町毛原下	令和 7 年度調査の関連調査

*実際に訪問して文書群を実見した調査に限る

表 1 のうち紀美野町を対象とした調査は11件で、このうち前回調査の追跡調査は 8 件（No. 1・3・8・10～13・15）である。No. 4・7・14は前回調査に含まれておらず、No. 4 は長谷地区で所在調査（No. 3）を行った際に、同地区区有文書の保存方法等の確認・助言の依頼を受けて調査したものである。No. 7 は紀美野町において民俗調査を実施している近畿大学の調査に同行したものである。No.14は文書館寄託の岡本家文書に関わる調査である。No. 2・5・6・9は海南市における実地調査で、令和 6 年度民間所在資料調査対象の文書群の所蔵者の方より連絡をいただき実施したものである。No. 2・4～7・9・14の 7 件は前回調査には含まれていないため、後掲の表 2 及び表 3 には含めていない。

2 前回調査の追跡結果

表 2 は、前回調査分を対象とした調査件数、アンケート送付及び返信件数等をまとめたものである。表 3 は、前回調査件数と今回調査の結果等についてまとめたものである。

表 2 前回調査分を対象とした令和 7 年度調査件数・アンケート送付及び返信件数一覧

旧町村	調査対象 件数	事前把握済 件数	アンケート送付・結果				実地調査
			送付	返信あり	返信なし	不達	
野上町	13	3	10	2	4	4	4
美里町	5	0	5	4	0	1	4
合計	18	3	15	6	4	5	8

表3 前回調査分を対象とした令和7年度調査件数及び調査結果

旧町村	H9～11年度 調査	R7年度 調査	連絡が取れた 所蔵者	代替わり等	文書所在状況	
					確認	未確認
野上町	13	13	13	10	4	9
美里町	5	5	4	3	4	1
合計	18	18	17	13	8	10

追跡調査結果について、前回調査から20年以上が経過したなかで、調査対象全18件のうち、17件の所蔵者もしくは親族等関係者と直接連絡をとることができた。1件は連絡がかなわなかったが、所蔵者の現況について情報を得ることができた。しかし、文書群については18件中10件の存否が確認できなくなっており、地域の文書群の消失が危ぶまれる結果となった。調査対象であり、かつ『和歌山県古文書目録』⁽⁶⁾や『野上町誌』⁽⁷⁾にも掲載されていた文書もいくつか確認ができなかった。

表2について、前回調査時の住所宛に送付したアンケート全15件のうち「返信あり」は6件と全体の半分以下であった。「返信なし」は4件で、宛所不明による「不達」(返送)は5件であり、計9件は回答を得ることができなかった。しかし、返信がなかった場合でも電話又は訪問によって所蔵者と連絡をとり、文書の保存状況を確認することができた。

返信のあったアンケートについて、質問項目への回答はいずれも不足なく得ることができた。アンケートに同封した前回調査時の記録概要は、現所蔵者が文書を確認する際に役立ったようであり、所蔵者によっては記録概要と現状とを対照して、数量の増減等、保存状況を詳細に記入されていた例もあった。自由記述欄には保管状況や経緯のほか今後の取扱いの相談も書かれるなど、実地調査にあたり事前に詳しく状況を把握することができ、アンケートの有効性を確認することができた。

表3のうち「連絡が取れた所蔵者」は、アンケートの返信・電話・訪問等により文書の現況について直接問い合わせることができた件数を示す。「代替わり等」は、家庭の世代交代だけでなく、神社・寺・講における管理担当者の交代も含む。「文書所在状況」のうち「確認」は返信又は実地調査により文書の現存が確認できた件数を、「確認不可」は文書の存否が確認できなかった件数を示す。

旧野上町では前回調査した文書群のうち半数近くの存否が確認できなかった。一方、旧美里町では、前回調査件数の8割を追跡することができた。旧野上町と旧美里町とでは調査件数の母数に開きがあるため単純な比較はできないものの、このような差異が生じた理由・背景には、文書の所蔵者及び所蔵形態の違いが少なからず影響していると思われる。

旧野上町の文書群13件中、存否が確認できなかった9件のうち8件は、所蔵者がいわゆる一般家庭で代替わりをしており、かつ文書に関して先代からとくに聞いていなかった。現存が確認できた4件のうち3件は、所蔵者が神社であるか、紀美野町教育委員会及び文書館が保管しているものである。

旧美里町の全5件のうち現存が確認できた4件中3件の文書は、寺又は講の管理者が持ち回りで、あるいは集会所等で管理していたものである。

以上をふまえると、紀美野町においても少子高齢化や過疎化により⁽⁸⁾、前回調査と比べて地域に伝わった文書群の消失の恐れや継承が困難であるといった問題が生じていることを改めて認識せざるを得ない。一方で旧美里町域の調査結果にみえるように、地域のコミュニティにおいて持ち回りで文書を管理する、あるいは集会所等に保管し共同で管理するといった昔ながらのあり方が、文書を消失させることなく保存する方式として有効であることを再確認する結果ともなった。ただし、このような管理のあり方も、今後のさらなる少子高齢化・過疎化の波から免れることは難しい。実際に、今回の調査対象の一つである毛原宮西方寺の文書は、地区内の管理者によってこれまで大切に保存され続

けてきたものだが、今回調査をきっかけに管理者から、過疎化のため地区での管理が難しいと相談を受けたため、紀美野町教育委員会及び和歌山県立博物館と協議した結果、県立博物館に寄贈されることとなった⁽⁹⁾。今回調査を行ったコミュニティでは、続けられる限りは自分達で守っていきたいという意思を示されたところが多かったが、いずれは管理が困難になる事態は想定しておかなければならない。また、一般家庭の所蔵者でも、文書の今後の取扱いについては懸念を抱いており、文書の保存が難しくなった場合は文書館等へ改めて相談の連絡をいただくようお願いをした。

なお、今回は前回調査の追跡調査を主としており、悉皆的・網羅的な調査は想定していなかったため、自治体史等⁽¹⁰⁾に掲載されている既知の文書群も含めた調査は行えていない。また、紀美野町では、近畿大学文芸学部教授藤井弘章氏らによる民俗調査が長年継続して行われており、令和7年度は文書館も調査に参加させていただいたが、藤井氏らの調査により、これまで未確認だった文書群の存在も明らかにされているものの⁽¹¹⁾、文書館による全体的な調査・把握は容易とはいえないのが現状である。

今回の紀美野町における調査では、少子高齢化・過疎化が進行する地域における文書群の現状・問題に否応なく直面し再認識させられる結果となったが、和歌山県内の他の市町村でも同様の事態が生じていることが十分想定される。地域の文書群の消失を防ぐために文書館では何ができるのか、引き続き民間所在資料調査を継続しながら、模索していきたい。

【謝辞】

令和7年度の民間所在資料調査では、紀美野町教育委員会の全面的な御協力をいただきました。末筆ながらここに記して深謝申し上げます。

注

- (1) この調査は、平成9年度から同17年度にかけて「平成の大合併」以前の県内旧50市町村ごとに文書館から依頼又は委嘱して設置した「民間所在資料調査員」（平成9年度～同11年度は「地域史料保存調査員」）が、各市町村教育委員会等の協力を得て行ったもので、万一の災害時に救出・保全活動を行うための所在場所など基礎情報の収集が目的であった（龍野直樹「地域資料保存事業への思考と試行」（『和歌山県立文書館紀要』第6号、平成13年）、藤隆宏「民間所在資料保存状況調査の中間報告」（同第8号、平成15年）・「民間所在資料保存状況調査結果報告」（同第12号、平成19年））。令和6年度の海南市を対象とした民間所在資料調査については、藤隆宏「令和6年度の民間所在資料保存状況調査について—海南市—」（『和歌山県立文書館年報・研究報告』第2号、令和7年）を参照。
- (2) なお、平成26年度以降令和5年度以前の調査のうち、平成26年度から令和3年度までの民間所在資料調査は、和歌山県立博物館を事務局とする和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会が文化庁補助金を得て実施した「災害の記憶」事業への参加・協力を活動の中心とし、災害記録の採集及び成果の地域還元を優先的に行うものだった。本事業は県内外の文化財関係機関・団体・研究者らが参加し、過去の災害に関する記念碑や記録、伝承等の調査・収集を行い、その成果を小冊子にまとめて配布するほか、現地学習会を開催するなどして地域に還元する取組を行った。同事業は令和3年度に終了したことから、同4年度から5年度までは文書館が主体となって調査を継続し、古文書に記録された災害情報等を地域に還元する取組を行っていた。以上の調査概況については、藤隆宏「平成26年度の民間所在資料保存状況調査について—御坊市・美浜町・日高川町・那智勝浦町—」（『和歌山県立文書館紀要』第18号、平成28年）・「平成27・28年度の民間所在資料保存状況調査について—由良町・印南町・すさみ町・太地町・串本町—」（同第20号、平成30年）・「平成29・30年度の民間所在資料保存状況調査について—日高町・白浜町・新宮市・北山村—」（同第22号、令和2年）・「令和元・2年度の民間所在資料保存状況調査について—湯浅町・広川町—」（同第24号、令和4年）・「令和3～5年度の民間所在資料保存状況調査について—田辺市・上富田町—」（『和歌山県立文書館年報・研究報告』第1号、令和6年）を参照。
- (3) 藤隆宏「民間所在資料保存状況調査結果報告」（『和歌山県立文書館紀要』第12号、平成19年）
- (4) 三好康太「文書館による資料所在確認調査について—2017年度の調査結果—」（『福井県文書館研究紀要』第15号、平成30年）・「文書館による資料所在確認調査について—2018年度の調査結果—」（同第16号、平成31年）・

「文書館による資料所在確認調査について—2019年度の調査結果—」（同第17号、令和2年）・「文書館による資料所在確認調査について—2020年度の調査結果—」（同第18号、令和3年）・「文書館による資料所在確認調査について—2021年度の調査結果—」（同第19号、令和4年）、奈良県文化・教育・くらし創造部文化財保存課『令和4年度・5年度奈良県内古文書所在確認調査報告書』（令和6年）、奈良県地域創造部文化財課『令和6年度奈良県内古文書所在確認調査報告書』（令和7年）。

- (5) 前回調査文書群のうち、紀美野町中田（旧野上町中田）の、従来「中田区有文書」、「中田地区班有文書」と呼ばれていた文書は、平成30年に文書館に寄託された（『和歌山県立文書館だより』第55号、令和元年）。なお、当該文書は厳密には区有文書ではなく、文書館では『中田区文書』として取り扱っている。
- (6) 『和歌山県古文書目録1 紀の川流域古文書調査報告書（1）』（和歌山県教育委員会、昭和58年）
- (7) 『野上町誌 下巻』（野上町誌編さん委員会、昭和60年）
- (8) 平成7年の旧野上町の人口・世帯数は8,955人・2,710世帯、旧美里町の人口・世帯数は4,423人・1,576世帯で（平成7年国勢調査確定人口及び世帯数（和歌山県）（<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/1995/08-31.htm>）最終閲覧 令和8年7月3日）、合計13,378人・4,286世帯である。令和7年1月時点での紀美野町は人口7,691人・3,945世帯であり（『広報きみの』第231号、令和7年3月）、人口は半数近く減少している。
- (9) 和歌山県立博物館 博物館ニュース「新収蔵資料 界西西方寺文書（館1247）」（<https://hakubutu.wakayama.jp/information/%e6%96%b0%e5%8f%8e%e8%94%b5%e8%b3%87%e6%96%99%e3%80%80%e7%95%8c%e8%a5%bf%e8%a5%bf%e6%96%b9%e5%af%ba%e6%96%87%e6%9b%b8%ef%bc%88%e9%a4%a8%1247%ef%bc%89/>）最終閲覧 令和8年7月3日
- (10) 前掲注6・7、『美里町誌 史料編Ⅰ』・『美里町誌 史料編Ⅱ』（紀美野町美里町誌編纂委員会、平成19年・同24年）
- (11) 藤井弘章「明治後期から昭和中期の高野山麓における榧実・榧油の生産と流通—和歌山県紀美野町毛原地区の大福帳を中心に—」（『民俗文化』第37号、令和7年）

和歌山県立文書館 年報・研究報告 第3号

令和8年9月30日発行

編集・発行	和歌山県立文書館
	〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-38 きのくに志学館内
電 話	073-436-9540
F A X	073-436-9541
メー ル	e0221011@pref.wakayama.lg.jp
ホームページ	https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/index.html
印 刷	株式会社ウイング



和歌山県